

資 料

中国問題・日中関係をめぐる
主要地方紙社説一覧（1960～1965年）

梶 居 佳 広

本資料は、前回紹介した韓国・朝鮮問題（「朝鮮半島問題・日韓関係に関する主要地方紙社説（1960～1965年）」『立命館経済学』第64巻第2号）に引き続き、1960年7月20日（池田勇人内閣発足翌日）から1965年末にかけて中国について論じた主要地方紙社説の題目を一覧にしたものである。従って、（既に前回の資料紹介で説明した）一覧に採用した地方紙の基準（1960年時点で13万部以上の新聞）や当時の新聞に関する一般的解説は割愛する。ここでは中国問題に関する地方紙社説の「傾向」についてごく簡単に概観することにした¹⁾。

表1は今回紹介した各紙年代ごとの中国関連社説（論説）掲載数を示したものである。朝鮮問題の時と同様、全国紙（『朝日新聞』『毎日新聞』『読売新聞』）の掲載数に比べるとやや少ない新聞が多いが、地方紙は地元問題を多く社説で取り上げることを考慮にいれる必要があるだろう。こうした中、『静岡新聞』が「異常」な掲載数となっているが『静岡』は「東京だより」という外部識者寄稿が社説・論説に相当していたことをおさえておく必要がある。すなわち、高名な哲学者である高山岩男が事実上「論説委員代表」に相当する地位にあって旧軍人・自衛隊関係者からの寄稿が非常に多いのが特徴であり、一つの出来事に対して複数の識者が寄稿するケースも目立っている。社会主義体制であり日本にとって「異質」な存在とみなした「中共」への関心が非常に高い一方、（中共警戒論を除いた）日中関係一般への関心は相対的に低いことも指摘できる。

年代別に社説掲載の傾向を見ると、『南日本』を除いて1964年が最も掲載数が多く、次いで1965年が多い新聞が一般的であった（『北海道』『中部日本』『西日本』『河北新報』『東京』『京都』『神戸』『新潟』『北國』『信濃毎日』『静岡』『愛媛』）。もっとも1965年は日韓国交樹立のため朝鮮問題を取り上げた社説の方が多く新聞が大半でもあるが（『静岡』『北國』『山陽』を除く）。なお朝鮮問題と比較すると、1961年、1962年は中国問題、1960年は朝鮮問題に関する社説掲載が多い新聞が目立っている。

1. 1960年後半

対中関係が著しく悪化した岸信介内閣の退陣を受けた池田内閣発足により、韓国と共に中国（中華人民共和国、「中共」）との関係改善を模索する機運が高まったが、主要地方紙は『中国』『北國』『静岡』『大分合同』を除き朝鮮問題より社説掲載数は少ない。ただし、この年の朝鮮問題社説のかなりが北朝鮮＝朝鮮民主主義人民共和国への帰国運動に関するものであったことにも注意する必要がある。

内容的には日中貿易に関する（＝差し当たり経済関係の深化を求める）社説が多く、政治面を含め

表1 年代別「中国問題」社説掲載数

	北海道	中部日本	西日本	河北新報	東京	京都	神戸	中国
1960年	5	3	5	1	3	5	4	9
1961年	15	13	17	10	10	12	9	15
1962年	17	17	18	14	15	11	9	13
1963年	11	14	12	5	14	10	12	16
1964年	33	35	22	26	38	30	24	23
1965年	22	28	19	24	24	19	16	23

	新潟	北国	信濃毎日	静岡	山陽	北海タイムス	北日本	愛媛
1960年	5	4	3	13	5	2	3	9
1961年	6	18	6	26	13	13	6	8
1962年	15	8	15	29	16	3	4	9
1963年	7	6	6	39	9	3	2	8
1964年	23	22	17	61	22	11	6	22
1965年	16	19	17	55	13	7	4	19

	熊本日日	南日本	東奥日報	高知	大分合同
1960年	3	2	1	7	5
1961年	16	15	4	13	11
1962年	11	8	2	22	3
1963年	10	4	2	12	3
1964年	33	18	7	26	12
1965年	15	30	2	16	8

	朝日	毎日	読売
1960年	8	8	6
1961年	22	11	14
1962年	21	22	27
1963年	14	21	16
1964年	34	41	57
1965年	20	25	38

た日中関係全般の改善を論じた社説は全体の半数以下に止まる。池田内閣発足直後から9月かけて『中国』『信濃毎日』『南日本』『愛媛』『大分合同』『東奥』『高知』、年末に『北海道』『西日本』『信濃毎日』『山陽』『愛媛』が取り上げているが、『中国』『愛媛』が複数回この問題を社説に掲載するなど熱心である一方、『東奥』『南日本』は単発の社説掲載に止まった。

他に中ソの対立関係を『西日本』『東京』『京都』『中国』『新潟』『北国』『信濃毎日』『静岡』『北日本』、国際連合（国連）における中国代表権問題について『北海道』『東京』『中国』『静岡』『山陽』『北日本』が社説でとりあげているが、『静岡』が「中共の実態」を繰り返し紹介し、『神戸』が中国と台湾（中華民国・「国府」）との関係並びに台湾の内部事情にも言及したことは注目すべきであろう。

2. 1961年

前年末から「中国問題」打開を求める社説が増えてきたが、1961年に入ると『北海道（2，3月）』『中部日本（2月）』『西日本（2，3月）』『河北新報（2月）』『東京（3月）』『神戸（2月）』『中国（1，3月）』『新潟（3月）』『北國（1，3，4月）』『山陽（2，3月）』『北海タイムス（1月）』『北日本（4月）』『愛媛（4月）』『南日本（3，4月）』『東奥（3月）』『高知（3，4月）』『大分合同（4月）』が日中問題を本格的に取り上げており、『東京』を除いて、日中貿易の推進・拡大、アメリカとの関係を考慮しつつ中国問題への日本の自主的判断を求める論調をとっていた（対中関係改善に積極的な『北海道』は「二つの中国」にも批判的）。一方、「日中問題」でなく「中共政策」と解する『静岡』と『熊本日日』は対中関係改善に慎重ないし批判的であったが、結局のところ6月に池田首相が訪米して実現した日米首脳会談の結果、対中関係に当面大きな変化は期待できない見通しになった時点で中国問題を扱った社説も激減する（日米首脳会談と中国の関連についてはほぼ全紙社説で取り上げている）。この点、7月に北朝鮮と相互援助条約を結んだこと（社説掲載は『西日本』『中国』『北國』『山陽』）が影響している可能性もある。

秋に入ると中国代表権問題（国際連合において「中国」を代表するのは事実上台湾のみの統治であるが従来通り中華民国・「国府」なのか、大陸を実効支配する中華人民共和国・「中共」なのか）が大きな争点となったため、10月から12月にかけてほとんど全ての新聞が社説で取り上げている（『北海道』『中部日本』『西日本』『京都』『北国』『信濃毎日』『山陽』は3本以上）。結果、代表権問題を国連総会において3分の2以上の賛成を要する重要事項に指定した「重要事項指定案（日本は共同提案国の一つ）」が可決することで「中共加盟」を阻止したが、同問題の重要性と今後も未決の問題として残るであろうとの指摘が多く新聞でなされている。なお年末には社会党代表団訪中の動きを一部新聞が取り上げている（『北海道』『西日本』『河北新報』『中国』『信濃毎日』『静岡』）。

3. 1962年

1962年は鈴木元委員長を団長とする社会党訪中団が「米帝国主義は日中人民共同の敵」という1959年浅沼演説を再確認（1月13日）したことに自民党が反発した件について、多くの新聞が社説で取り上げた（『北海道』『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『京都』『中国』『新潟』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『愛媛』『高知』『大分合同』が2本以上）。『北海道』を除き社会党の態度に対しては極めて批判的な社説ばかりとなったが、自民党の社会党攻撃も「政争の具」として距離を置く見解が多数であった（『静岡』は社会党非難の寄稿を5本も出しているが）。その後、5，6月に『北海道』『西日本』『新潟日報』が日中貿易推進の社説を掲載しているが、他紙はよりニュース性の高い中国内政問題（人民代表大会、飢饉の情報：『北海道』『中部日本』『西日本』『東京』『神戸』『北國』『静岡』『山陽』『高知』）や台湾海峡問題（6月：『北海道』『中部日本』『西日本』『河北新報』『東京』『神戸』『中国』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『熊本日日』『南日本』『高知』）を取り上げていた。

日中関係に対する社説が増加するのは9月以降、松村謙三の訪中（周恩来首相と会談）、並びに高碕達之助と廖承志（中国アジアアフリカ連帯委員会主席）間のいわゆる「LT貿易協定」締結（11月）の動きを受けてであり、『北海タイムス』『東奥日報』『大分合同』を除く全紙が2回以上この問題を取り上げている（『北海道』『中部日本』『西日本』『京都』『中国』『静岡』『山陽』は5回以上掲載）。『東京』『静岡』『熊本日日』が慎重論である他は概ね好意的な見解であって、『北海道』は

対中関係改善にくぎを刺すアメリカの姿勢に批判的でもあった。

ただ、11月にはインドとの国境紛争が発生（『北海道』『中部日本』『河北新報』『東京』『神戸』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『愛媛』『南日本』『高知』）し、12月に入るとソ連との深刻な対立も再び表面化するようになる（『北海道』『中部日本』『東京』『新潟』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『愛媛』『高知』）。

4. 1963年

1963年は前年末から目立った中ソ論争に関する社説が多くを占める年であった。『北海道』『中部日本』『河北新報』『東京』『神戸』『中国』『静岡』は5本以上この問題の社説を掲載紙、特に『静岡』は少なくとも25本は中ソ対立を紹介しており、『河北新報』がこの年社説で取り上げた中国問題は全て中ソ対立であった。年末に入ると中ソ対立以外の「中共」独自の動き、例えば人民代表大会や周恩来首相のアフリカ訪問を社説で取り上げる地方紙も一定数あった（『北海道』『中部日本』『西日本』『東京』『神戸』『信濃毎日』『高知』）。

（貿易面を含む）日中関係については、反「中共」の論調が強い『東京』が6月に「基本を再吟味する」ことを求める社説を出しているが、多くは8、9月以降になって社説を掲載している（『北海道』『中部日本』『西日本』『京都』『神戸』『中国』『新潟日報』『山陽』『南日本』『愛媛』『高知』）。日中漁業協定調印への関心が相対的に高く（『北海道』『中部日本』『東京』『京都』『信濃毎日』『山陽』）、この年独立したマレーシア（・シンガポール）への賠償＝大戦中の中国人殺害問題への言及もみられる（『中部日本』『西日本』『神戸』『中国』『信濃毎日』『山陽』『愛媛』）。前年に続きアメリカの対中政策への不満・不安を指摘する新聞も数紙みられる（『北海道』『京都』『中国』）が、9月に発生した周鴻慶亡命事件をめぐって台湾（国府）との関係が悪化すると「二つの中国」、日本と「中共」・「国府」両政権との関係のありようが一部新聞社説で論じられるようになった（『神戸』『中国』『新潟日報』『信濃毎日』『愛媛』）。この点『新潟日報』はフランスと中国接近の動きについても社説で取り上げている。

5. 1964年

前年の動きをうけ『中部日本』『中国』『山陽』『南日本』『熊本日日』『大分合同』が「中国政策確立」「自主外交」「アジア外交」を論ずる社説を1964年正月から1月中旬にかけて掲載したが、その後、すなわちこの年の前半は「二つの中国」「中国（中共）との関係」をめぐる諸問題をめぐって各紙掲載の社説数は大幅に増えることになる。

まずフランスが中国（「中共」）を正式に承認し国交を樹立（1月27日）し、一方で台湾（「国府」）がフランスと断交（2月11日）した件について、ほぼ全ての新聞が社説で取り上げた（『北海道』『中部日本』『西日本』『河北新報』『東京』『京都』『神戸』『中国』『信濃毎日』『静岡』『山陽』『愛媛』『熊本日日』は3本以上）。『北海道』『中部日本』『西日本』『京都』『新潟日報』『山陽』『高知』は（日本政府の態度に対する不満も含め）日中関係改善・日中貿易拡大に前向きな姿勢を示し、『東京』『静岡』『熊本日日』は慎重・反対論の立場をとっている。

一方、台湾（「国府」）とは周鴻慶事件を機に関係が冷却化していたが、池田首相の書簡を携えた吉田元首相（2月）並びに大平外相（7月）の訪台によって関係改善が図られた。多くの新聞も社説で取り上げているが、『東京』『静岡』は「国府擁護」に近い立場であり、日中貿易にも前

向きな『西日本』は今後に期待している。逆に『北海道』は日台提携を「危険な動き」として批判し『中国』は日台のそもそもの立場の相違から提携を疑問視している。なお『神戸』が台湾内部の事情について紹介する社説を出した点は注目に値しよう。どちらにせよ、日台関係改善は日中関係改善にブレーキをかけたことは間違いなく、4月以降も何らかな形で日中関係改善を求める社説を出したのは『北海道』『中部日本』『信濃毎日』『山陽』『北日本（地元有力政治家である松村謙三の訪中）』『愛媛』に止まっている（9月に実現した日中記者交換については『北海道』『西日本』『河北新報』『静岡』『熊本日日』『南日本』『高知』が社説掲載）。

64年後半になって多くの新聞が社説で取り上げた中国問題は以下の3つである。(1)中ソ対立が再び深刻になったとみる社説が目立つが、対立への社会党の対応・代表団訪中（10月）について『神戸』『北國』『北日本』を除く全紙が動向を紹介している。(2)10月16日に中国が初の核実験を実施したことについて、全紙が社説で抗議・批判を行っている（このため同時期に訪中していた社会党代表団についても概ね辛い評価となっている）。(3)池田首相の病気退陣を受け発足（11月9日）した佐藤栄作内閣について、大半の新聞がそれぞれの立位置から中国政策（自主外交、アジア政策）に対する注文をつけている（『北海道』『河北新報』『東京』『京都』『中国』『北國』『静岡』『熊本日日』『南日本』『大分合同』は3本以上）。

6. 1965年

1965年は「戦後20年」ということもあって、前年同様、正月から1週間の間に『中部日本』『東京』は対中国（「中共」）関係、『北海道』『西日本』『京都』『山陽』『愛媛』『南日本』もアジア外交・自主外交を論ずる（年頭ないし特集）社説を掲載している。

この年は前年発足した佐藤内閣の対中姿勢並びに中国の対外政策に関する社説掲載が目立った。このうち佐藤外交については日米首脳会談（1月）やAA（アジア・アフリカ）会議（4～6月）、そして日中貿易の諸問題（例えば、日本輸出入銀行＝輸銀による融資の是非）が断続的に社説で取り上げられた。日米首脳会談は間接的な『北日本』を含めた全紙が、AA会議については『北海タイムス』『北日本』『東奥日報』以外の各紙が社説で取り上げた。日中貿易になると『北海道』『中部日本』『西日本』『河北新報』『東京』『南日本』が5本以上同問題を取り上げているが、9月には関係停滞を指摘する新聞が目立つようになる（『北海道』『中部日本』『西日本』『河北』『東京』『信濃毎日』『静岡』）。この点、『北海道』は台湾（国府）への経済援助も含めて日本政府に批判的である一方、『静岡』『河北新報』らは中共側の姿勢も問題視していた。

中国側の外交については、中ソ対立、（インドネシアとの関係も含めた）AA会議関連、二度目の核実験（5月）、カシミール（インド・パキスタン紛争）やベトナム戦争への態度が問題となった。このうち核実験については『北海道』『西日本』『東京』『京都』『神戸』『中国』『新潟』『信濃毎日』『静岡』『南日本』『北日本』『熊本日日』『高知』が取り上げて批判しているが取りあげなかった新聞も数紙見られる。ベトナム戦争については前年のトンキン湾事件以降、各紙社説をにぎわすようになるが、中国の態度となると憶測の域を出ないごく簡単な言及が多く、今回の社説一覧ではそのような社説は採録していない。中ソ対立との関連（『北海道』『中部日本』『東京』『中国』『信濃毎日』『静岡』『熊本日日』、アメリカの作戦との関連（『東京』『京都』『神戸』『北國』『静岡』『熊本日日』『大分合同』）で中国側の動向・意図についてややまとまった言及・論評がある程度であった。

ただ「中共の軍事的脅威」を度々主張する『静岡』をはじめ、（ベトナム以外の状況も含め）「中共の強硬姿勢」に批判的な社説が多いのも事実である。

こうした中、9月以降、国連で再び「中国代表権問題」が大きな争点となる。日本は4年前と同様（アメリカと共に）「重要事項指定案」の共同提案国となり同案は総会で可決（11月17日）されるが、実際は賛否同数で「中共加盟」支持の声が確実に増していることも明らかになった。日本の対応を含め、『北海道』『中部日本』『西日本』『東京』『京都』『中国』『信濃毎日』『愛媛』『南日本』『高知』が3回以上、社説でこの問題を取り上げている。

そして多くの新聞は代表権問題一応の決着が、1965年社説で取り上げた中国問題の最後であった（『西日本』『京都』『中国』『新潟日報』『南日本』は軍縮ないしベトナム戦争関連で中国の動向に言及・論評している）。なお、中国国内に関する社説はない。文化大革命が本格化したのは翌1966年からである。

以上、1960年7月から1965年末までの中国問題に関する各紙社説の傾向を簡単に追跡した。池田内閣は「中共、韓国との関係改善」を外交上の大きな課題として発足したが、5年半を経た佐藤内閣によって韓国とは国交樹立にまで漕ぎつけた。しかし中国との関係改善は一進一退のままの5年半であり、今回調査対象の翌年＝1966年以降は中国文化大革命という未曾有の混乱に突入したこともあって日中関係は長い停滞の時代を迎えることになる（周知の通り、国交正常化は1972年）。勿論、当時の東西冷戦と分断の下、アメリカからも国交正常化を求められていた韓国と（台湾・「国府」を擁護する）アメリカと厳しく対立していた中国（「中共」）の違いは大きく、韓国と間の国交正常化の方が早くなったのはある意味当然であった。一方で（政治上の争点がそれ以前＝岸内閣までよりは少なくなった内政問題に比べ）1960年代前半の対中関係は、関連する出来事が起こるたびに新聞紙上においてはそれなりに活発な論議がなされ、各紙社説の間でかなりの見解の相違がみられたことも事実である。恐らく、対韓関係に比べても「将来の可能性・選択肢」が多様に存在していたためであるが、これら諸見解を整理することでこの当時日本の中国認識・イメージの一端を知ることでもできよう。こういった作業は「中国に親しみを感²⁾じない」日本国民が80%を超えた現在においても意味があるように思われるが、どうだろうか。

注

- 1) 1960年代前半の日本の中国像については、馬場公彦『戦後日本人の中国像』（新曜社、2010年）第3章が詳細な検討を行っているが、論壇誌を分析対象としている。同時代的な記録としては『中国研究月報』が1960年から65年まで新聞も含めた日本の中国観を紹介している（光岡玄「ジャーナリズムに映じた中国」（第145号、1960年）、マスコミ研究会「ジャーナリズムにあらわれた中国観」（第155号、1961年）、光岡玄・徳増覚次郎「反中国宣伝と中国像」（1962年、第170号）、光岡玄「中ソ論争と中国像」（1963年、第183号）、マスコミ研究会「中国の核実験をめぐる中国像」（1965年、第210号）。ただし所謂全国紙に限られている。
- 2) 2014年10月に内閣府の行った「外交に関する世論調査」において、「中国に親しみを感²⁾じない」割合は83.1%に達し「親しみを感²⁾じる」は14.8%に止まっている。なお韓国については「親しみを感²⁾じない」66.4%、「親しみを感²⁾じる」31.5%という結果であった。

中国問題・日中関係をめぐる主要地方紙社説（1960年7月～1965年12月）

地方紙：50万部以上（1965年）

北海道新聞

- 1960年8月31日 日中貿易は再開できるか
- 1960年10月10日 国連総会にみる注目すべき事実
- 1960年11月4日 日中貿易再開の機会をつぶすな
- 1960年12月10日 日中貿易への要望はいよいよ強い
- 1960年12月29日 あいまいな政府の対中国見解
- 1961年1月11日 日中貿易の門戸を開け
- 1961年2月11日 日中問題への主体的見解を示せ
- 1961年3月19日 英連邦首相会議と中国問題
- 1961年3月31日 “二つの中国”論に反対する
- 1961年4月8日 日中貿易の拡大機運をつくれ
- 1961年6月1日 微妙な日中貿易
- 1961年6月13日 容易ならざる首相訪米の見通し
- 1961年6月16日 疑問の残る首相記者会見
- 1961年6月24日 日米首脳会談に対する疑問
- 1961年11月15日 首相の東南ア訪問に望む
- 1961年11月17日 中国代表権問題と日本の立ち場
- 1961年12月4日 中国代表権問題と米国と国連
- 1961年12月8日 岡崎演説にみる政府の対中国態度
- 1961年12月17日 中国代表権表決の意味するもの
- 1961年12月29日 社会党の訪中使節団に望む
- 1962年1月14日 日中共同声明の意味するもの
- 1962年1月30日 日中問題を宣伝の具とするな
- 1962年4月19日 中国人民代表大会の示すもの
- 1962年5月16日 日中貿易を拡大させるには
- 1962年6月2日 日中貿易への米国の干渉を排す
- 1962年6月26日 台湾海峡の緊迫化とその背景
- 1962年8月8日 日中貿易促進は機構より姿勢を
- 1962年9月21日 日中調整の困難性を打破せよ
- 1962年9月28日 日中貿易拡大への米国の“警告”
- 1962年10月17日 及び腰の日中貿易拡大方針／中印国境の紛争激化を憂える
- 1962年10月26日 訪中使節団に何を期待するか
- 1962年10月31日 自主性を欠く政府の外交認識
- 1962年11月2日 中印紛争は話し合いで解決せよ
- 1962年11月11日 多難を思わせる日中貿易の前途
- 1962年11月22日 解決の道を開く中国の停戦表明
- 1962年12月22日 中ソの対立をどう理解すべきか
- 1963年1月9日 新局面の中ソ論争をどうみるか
- 1963年3月15日 両党会議に持ち込まれた中ソ論争
- 1963年6月18日 中国の平和共存否定に対する疑問
- 1963年7月5日 国家的利害の対立を示す中ソ会談
- 1963年7月23日 調整に失敗した中ソ両党会談
- 1963年9月4日 「わが外交の近況」を憂える
- 1963年9月14日 日中貿易拡大への姿勢を正せ
- 1963年11月7日 好ましい日中漁業協定の復活
- 1963年11月17日 ケネディ中国発言をこうみる
- 1963年12月5日 「自力更生」を誓った人民大会

- 1963年12月16日 憂うべき米国の“中国政策”
1964年 1 月16日 周鴻慶事件の教訓
1964年 1 月21日 仏の中国承認と国際政局の動向
1964年 1 月26日 中仏正常化の動きと日本外交
1964年 1 月29日 フランスの『中国承認』の意義
1964年 2 月 6 日 周恩来発言と米中関係の打開
1964年 2 月12日 国府の対仏断交が意味するもの
1964年 2 月23日 対中外交の“両刀使い”を排す
1964年 2 月28日 軽視できない吉田訪台の影響
1964年 3 月 3 日 独自の外交を展開した周外遊／積み上げ方式と日中国交正常化
1964年 4 月 9 日 新段階を迎えた日中貿易関係
1964年 4 月13日 中ソ論争の現状とわれわれの見方
1964年 5 月26日 積極的な中ソ両国外交にみる動向
1964年 5 月31日 日中調整を手ぎわよく進めよ
1964年 6 月30日 “前向き”の姿勢はどこへいったか
1964年 7 月 7 日 危険な意味を持つ日台相互理解
1964年 8 月 3 日 中共の世界会議拒否と中ソ対立
1964年 9 月27日 日中記者交換の実現を喜ぶ
1964年10月 2 日 建国十五周年を迎えた中国
1964年10月12日 国連対策は根本的な練り直しを
1964年10月13日 社会党訪中使節団を送る
1964年10月18日 中国の核実験に抗議する
1964年10月31日 社会党訪中使節団の成果
1964年11月 6 日 周恩来訪ソと政変後のソ連
1964年11月22日 佐藤首相の所信表明を聞いて
1964年11月24日 ウ・タント報告と中国問題／新たな中ソ対立を意味するのか
1964年11月27日 真剣さを欠く首相の国会答弁
1964年11月28日 国連総会開会と日本の課題
1964年12月 3 日 佐藤内閣の中国政策に注文する
1964年12月 5 日 日中貿易をより前進させるには
1964年12月 6 日 内容の乏しい椎名国連演説
1964年12月25日 中国問題対策はどこへゆく
1965年 1 月 4 日 戦後二十年 新しい国民利益のために③ アジアの平和への責任
1965年 1 月17日 アジア危機と佐藤訪米の成果
1965年 1 月25日 中国への輸銀締め出しに抗議する
1965年 2 月 7 日 中国への輸銀活用にふみ切れ
1965年 2 月20日 国連機能回復には中国を加えよ
1965年 2 月25日 疑問だらけの国府への経済援助
1960年 3 月24日 中国共産党の公開論争再開宣言
1965年 4 月 7 日 日中貿易の前途を憂慮する
1965年 4 月21日 AA 式典の教訓を生かす道
1965年 5 月 2 日 日中貿易の打開に再言する
1965年 5 月16日 中国核実験と軍縮への責任
1965年 6 月 6 日 具体性に欠けた首相の記者会見
1965年 6 月13日 日中貿易促進に策動は不用
1965年 6 月15日 中ソ対立とベトナム戦争
1965年 8 月 7 日 「わが外交の近況」を読んで
1965年 8 月 8 日 日中調整への見解統一を求む
1965年 9 月 3 日 日中貿易に“前向き”を示せ
1965年 9 月21日 日中貿易拡大を阻んだ“壁”

- 1965年9月29日 椎名国連演説にみるわが外交
1965年10月1日 陳毅外相の発言をどうみるか
1965年10月6日 “善隣外交” にひそむ疑点を問う
1965年11月19日 中国代表権問題にみる日本外交

中部日本新聞

- 1960年8月31日 日中貿易の一波紋
1960年9月22日 日中貿易の打開策
1960年12月15日 中共貿易促進への心構え
1961年1月1日 きびしい試練の年
1961年1月3日 時代の要請にこたえる政治を
1961年1月31日 まずまずの政府演説だが
1961年2月19日 中国への救援米贈与
1961年3月22日 自主的な中共対策を立てよ
1961年4月8日 新局面を迎えた日中貿易
1961年6月16日 首相の訪米に期待するもの
1961年10月27日 モンゴル加盟と中国代表権問題
1961年11月19日 社党の訪中使節団派遣に望む
1961年11月20日 中国代表権問題に慎重を期せ
1961年12月5日 池田首相が直面する課題
1961年12月8日 中国代表権問題の岡崎演説
1961年12月17日 中国代表権の採択結果
1962年1月6日 舞台はアジアへ回る？
1962年1月14日 浅沼精神“再確認”の共同声明
1962年1月30日 日中問題は党首会談で
1962年4月18日 後退した中共の内政政策
1962年5月26日 “食えない” 中共からの香港難民
1962年6月27日 楽観を許さぬ台湾海峡周辺
1962年8月8日 日中貿易拡大の機運
1962年9月10日 日中関係の新局面を期待
1962年9月21日 軌道に乗る日中積み上げ方式
1962年9月28日 松村訪中の成果を生かす道
1962年10月1日 中共十中全会の意味するもの
1962年10月15日 危険な中印国境での火遊び
1962年10月20日 日中貿易をめぐる不可解な動き
1962年10月31日 中印国境問題の収拾を急げ
1962年11月11日 日中貿易交渉妥結の意義
1962年11月22日 中印国境の平和解決を急げ
1962年12月17日 重大化した中ソの対立
1963年3月2日 共産主義陣営の両極化
1963年3月15日 中ソ交換書簡をどう見るか
1963年4月17日 割り切れぬ香港などへの賠償
1963年6月20日 “中共書簡” へのソ連声明
1963年7月2日 中ソ論争はどこへ行くか
1963年9月8日 破局寸前にきた中ソ関係
1963年9月16日 マ連邦の成立と対日賠償要求
1963年9月23日 池田首相の四カ国訪問に望む
1963年9月26日 共産圏貿易に対する姿勢
1963年10月5日 日中漁業交渉に望む
1963年10月30日 陳毅外相の言明と中共の近況

- 1963年11月7日 日中漁業交渉の妥結
1963年12月5日 中共人民代表大会に思う
1963年12月24日 周中共首相のアフリカ旅行
1964年1月6日 自主的なアジア外交を
1964年1月9日 再び国府に自重を求む
1964年1月20日 フランスと中共との国交回復
1964年1月27日 中共承認問題の眼目
1964年1月29日 議論がかみ合わぬ日米委／中仏の国交樹立と日本
1964年1月30日 軍縮交渉と中仏国交樹立
1964年2月12日 国府の対仏国交断絶
1964年2月19日 日・中友好の積み重ね
1964年2月23日 吉田元首相の訪台にあたって
1964年2月25日 重大なパキスタン・中共声明
1964年2月27日 吉田・蒋会談と外相の訪台
1964年3月3日 周中共首相の歴訪旅行と日本
1964年4月9日 日中貿易の拡大ムード
1964年4月21日 前進した日中関係
1964年5月9日 小手先すぎる中共対策
1964年5月22日 日中“大使級接触”の問題点
1964年6月2日 アジア情勢の流動化に備えよ
1964年7月2日 大平外相の訪台にあたって
1964年7月14日 毛主席の南千島返還支持
1964年8月14日 共産圏貿易は経済主義で
1964年9月1日 世界共産陣営の分裂
1964年10月1日 中共の核実験接近の波紋
1964年10月9日 国連総会と日本の立ち場
1964年10月12日 社会党訪中使節団に望む
1964年10月18日 納得しがたい中共の核実験
1964年10月20日 激動する世界の中で考える
1964年10月21日 中共も含めた軍縮会議を
1964年10月26日 中共と話し合いの場を作れ
1964年10月30日 社会党訪中使節団の残したもの
1964年11月6日 共産圏の新気運と“平和共存”
1964年11月8日 再び中ソ和解機運について
1964年11月20日 “新アジア外交”への懸念
1964年11月23日 国連オブザーバーへの招待
1964年12月1日 超党派外交への道
1964年12月4日 日中関係を悪化させるな
1965年1月1日 戦後二十年目の日本
1965年1月5日 日本と中共
1965年1月9日 実のある日米会談を
1965年1月15日 日米蜜月時代の問題点
1965年1月30日 北京・ジャカルタ枢軸
1965年2月9日 揺らぐ中共貿易方針
1965年3月21日 噴火口に立つアジア
1965年3月24日 中ソ公開論争の再開
1965年4月3日 超党派外交への道
1965年4月7日 日中貿易の停滞を憂う
1965年4月12日 川島使節団に望む
1965年4月21日 AA 式典は終わったが

1965年5月2日 日中貿易を正す道
 1965年5月16日 中共核実験への抗議
 1965年5月18日 AAの現実をみつめて
 1965年6月8日 アジア外交のゆくえ
 1965年8月5日 日中貿易の正しい拡大
 1965年8月29日 アジア政策を固めよ
 1965年8月31日 対共産圏貿易の拡大
 1965年9月21日 国連総会への期待／日中貿易拡大のために
 1965年9月30日 椎名演説と国連外交
 1965年10月1日 陳毅外相発言の重大性
 1965年10月13日 アジア激動の底流
 1965年10月28日 中共とAA会議
 1965年11月10日 “中国代表権”への接近
 1965年11月16日 中ソ対立とベトナム
 1965年11月19日 中国代表権問題の今後

西日本新聞

1960年8月28日 中ソ「理論闘争」をどう見るか
 1960年9月1日 日中貿易再開に慎重な構えを
 1960年11月8日 中ソ論争と冷戦緩和の行くえ
 1960年12月15日 日中貿易再開へ熱意を失うな
 1960年12月29日 中共問題に望む政策の前進
 1961年1月1日 繁栄と平和への努力を
 1961年1月17日 ビルマ賠償の増額交渉に望む
 1961年1月29日 極東問題での発言力強化
 1961年2月4日 日中問題に前進的論議を望む
 1961年2月16日 社党外交方針を現実化せよ
 1961年3月20日 中国問題で国際世論を聞け
 1961年3月31日 軽率な「二つの中国承認論」
 1961年4月8日 強制バーター撤廃と日中貿易
 1961年5月13日 中共和国連加盟をめぐる諸問題
 1961年7月13日 極東での冷戦激化を恐れる
 1961年10月15日 米中関係調整への機運
 1961年10月27日 中国の国連代表論議に望む
 1961年11月19日 中国代表権問題の先決条件
 1961年11月30日 東南ア協力への一歩前進
 1961年12月8日 中国代表権問題の国連論議に望む
 1961年12月17日 「重要事項方式」を活用せよ
 1961年12月29日 社会党訪中使節団に望む
 1962年1月5日 日本外交の新段階と打ち合わせ
 1962年1月15日 独断的な社党使節団の声明
 1962年1月26日 外交論議で非難合戦をやめよ
 1962年1月30日 日中問題は内容中心に争え
 1962年3月11日 中ソ論争を避けたソ連中央委
 1962年4月9日 中共は真相を明らかにせよ
 1962年4月18日 周報告をどう解釈すべきか
 1962年6月2日 中共貿易を前向きに推進せよ
 1962年6月28日 台湾海峡の危機を回避せよ
 1962年8月5日 日中共同声明と社会党の反省
 1962年9月9日 注目される二つの中共訪問

1962年 9 月21日 日中積み上げ方式への期待
1962年 9 月26日 松村・周会談の成果を生かせ
1962年10月11日 日中貿易の着実な発展を期せ
1962年10月19日 日中貿易対策の一段の推進を
1962年11月11日 日中貿易協定の調印と今後
1962年12月 6 日 米の中共封じ込め策と日本
1962年12月10日 「アジアの中の日本」の立ち場
1963年 4 月 9 日 東南ア情勢の多元化に備えよ
1963年 6 月18日 さらに硬化した中共路線
1963年 7 月 5 日 中ソ対立問題を過大視するな
1963年 7 月11日 本格化してきた共産圏貿易
1963年 8 月 1 日 中共に国際会議参加の道を
1963年 8 月23日 日中貿易拡大の前提条件
1963年 9 月 4 日 日本外交の新方向を打ち出せ
1963年 9 月26日 日中貿易協定の成立と課題
1963年10月 7 日 華商補償問題の早期解決を
1963年11月26日 池田外交政策のこんごの課題
1963年12月 5 日 中共人民大会とわが国の態度
1963年12月13日 注目すべき最近の中共の動き
1964年 1 月 7 日 国際政治の新動向に期待する
1964年 1 月21日 仏中の国交正常化を注視する
1964年 1 月26日 代表質問における外交論戦
1964年 1 月28日 仏中国交正常化と国際政局
1964年 1 月29日 交差する両東西路線と日本
1964年 2 月12日 くずれた「二つの中国」構想
1964年 2 月19日 日中交流の動きを促進せよ
1964年 2 月28日 対国府関係を再検討すべき時
1964年 3 月 3 日 中共の対 AA 外交路線の実態
1964年 4 月 5 日 新段階にはいる中ソ対立
1964年 4 月21日 日中記者交換の実現を喜ぶ
1964年 5 月10日 中ソ論争の背後にあるもの
1964年 6 月29日 中ソ対立とソ連の東南ア政策
1964年 7 月 3 日 日台関係の新展開を期待する
1964年 7 月 5 日 日中貿易連絡員の妥当な解決
1964年 7 月16日 北方領土をめぐる中ソの態度
1964年10月 1 日 建国十五周年を迎える中共
1964年10月18日 遺憾な中国の核爆発実験
1964年10月20日 転換期を迎えた世界と日本
1964年10月31日 社会党の外交方針と共同声明
1964年11月 8 日 容易でない中ソ関係の改善
1964年12月 4 日 日中関係改善は長期的展望で
1965年 1 月 1 日 自主外交の展開を望む
1965年 1 月21日 今国会で「佐藤政策」を明確に
1965年 1 月24日 中国向けプラント輸出問題
1965年 1 月30日 中国問題が焦点の代表質問
1965年 2 月10日 中国向け延べ払い問題の焦点
1965年 3 月11日 共産世界の深化する多元化
1965年 3 月24日 遠のいた中ソ和解の可能性
1965年 3 月26日 米、中両国の理性に訴える
1965年 4 月 7 日 遺憾な対中国造船契約の失効

1965年 4月11日 アジア積極外交に注文する
 1965年 4月21日 新しいバンドン精神の創造を
 1965年 8月 5日 国会論戦と米機移動の波紋
 1965年 9月 2日 日中貿易拡大の基盤づくりを
 1965年 9月21日 けわしい日中貿易拡大の道
 1965年10月 1日 中国の国連加盟問題への疑念
 1965年10月28日 AA 会議不参加を決めた中国
 1965年11月 9日 中国代表権討議問題は慎重に
 1965年11月19日 複雑な中国の国連代表権問題
 1965年12月19日 日中漁業協定のきびしい現実

25万部以上

河北新報

1960年 8月17日 まず徹底的に相手を知れ
 1961年 1月12日 政治的ゼスチュアに終わらすな
 1961年 1月27日 中共の飢饉と米国の小麦
 1961年 2月20日 問題は“二つの中国”解釈に
 1961年 6月16日 割り切れぬ首相の対中共策
 1961年 6月24日 日米首脳会談の評価
 1961年 8月14日 自主性のない日本外交
 1961年12月 4日 米ソ反目の渦中にはいるな
 1961年12月 8日 焦点をボカした岡崎演説
 1961年12月17日 五カ国決議採択の意味するもの
 1961年12月28日 中共訪問をもてあます社会党
 1962年 1月15日 社党使節団の共同声明に失望する
 1962年 1月24日 重大な曲がりかどに立つ社会党
 1962年 1月25日 東西両陣営内の修正と日本の立ち場
 1962年 1月31日 立ち会い演説会で論争を尽くせ
 1962年 5月14日 煮え切らぬ中共貿易拡大策
 1962年 6月27日 また波さわぐ台湾海峡
 1962年 8月 4日 鈴木社党元委員長の訪中報告に思う
 1962年 8月15日 中共貿易拡大に慎重を期せ
 1962年 9月21日 松村・周会談の意義
 1962年 9月28日 日中貿易拡大と米国の不安
 1962年10月10日 新外交方針案と社会党政権
 1962年10月15日 日中、日米貿易に合理的判断を
 1962年11月11日 日中貿易とり決めと日米貿易
 1962年11月12日 中印国境紛争と大国の火遊び
 1963年 1月23日 中ソ論争を過大視するな
 1963年 2月13日 中ソ論争でゆらぐ？ 社会党
 1963年 3月15日 中ソ論争にたいする態度
 1963年 7月 3日 いよいよ深まる中ソの対立
 1963年 8月29日 中ソ論争におのれを失った社会党
 1964年 1月20日 仏が成功した「二つの中国」策
 1964年 1月22日 意欲に内容が添わぬ施政演説
 1964年 1月29日 世界的反主流派の結成
 1964年 2月 2日 ドゴールの「広場」と対中共方式
 1964年 2月11日 社会党と超党派外交
 1964年 2月12日 仏華断交と吉田氏の訪台

1964年 2月27日 政経分離は旧時代の“かくれミノ”
 1964年 2月28日 吉田氏訪台の成果
 1964年 4月 7日 激化の様相を深める中ソ対立
 1964年 4月 8日 訪ソにとまどう社会党
 1964年 6月 3日 外交に筋金を通せ
 1964年 7月 4日 アジア外交に自主性を
 1964年 8月 5日 中ソ間でよろめく社会党
 1964年 8月 9日 しらじらしい「外交青書」
 1964年 9月26日 日中記者交換の実現
 1964年10月 4日 非同盟諸国会議と社会党
 1964年10月12日 中共の核実験の狙い
 1964年10月19日 主役の顔ぶれを変えた新世界地図
 1964年10月21日 国際新事態と日本の立場
 1964年10月31日 訪中社会党使節団の共同声明に思う
 1964年11月 1日 恒久平和の方途を確立せよ
 1964年11月 8日 中共を含めた“平和共存”を
 1964年11月28日 平和外交に勇断を示せ
 1964年12月 6日 椎名外相の国連演説を読んで
 1964年12月 8日 中ソ論争再開の背景
 1964年12月30日 佐藤首相の訪米に望む
 1965年 1月 6日 依然、中共には堅い一般教書
 1965年 1月15日 日米共同声明への疑問と期待
 1965年 1月23日 日中貿易に自主性を
 1965年 1月30日 国民が期待し、納得する論議を
 1965年 2月 3日 中ソ関係における試金石
 1965年 2月20日 ゆらぐ“自主平和外交”
 1965年 2月25日 中共の経済躍進を軽視するな
 1965年 3月 2日 平和のための具体的言動を
 1965年 3月18日 政治色の強い「新アジア外交」
 1965年 3月21日 国民に『佐藤路線』の信を問え
 1965年 4月14日 川島特使に慎重な態度望む
 1965年 4月21日 AA 式典に見る外交の不在
 1965年 5月19日 第2回 AA 会議対策の焦点
 1965年 5月27日 AA 会議全権団の「人」と「腹」
 1965年 8月 2日 南主席の訴える中共の経済的事情
 1965年 8月 7日 内政干渉許さぬ確固たる貿易政策を
 1965年 8月29日 低迷するアジア外交
 1965年 9月 4日 第四年度日中貿易交渉に望む
 1965年 9月16日 米の共産圏貿易と西欧の中共進出
 1965年 9月20日 中共ペースに乗せられた貿易交渉
 1965年10月30日 AA 会議と日本の立ち場
 1965年11月 1日 微妙に揺れ動く国連内の世論
 1965年11月 2日 バミ国務次官補の日本世論批判
 1965年11月19日 中共の国連加盟否決

東京新聞

1960年 7月31日 まず、正しい対日認識を
 1960年 9月 1日 対立を深めた？ 中ソ関係
 1960年10月11日 中国代表権と A・A 諸国の動向
 1961年 1月29日 まだすっきりせぬ首相の所信

1961年1月31日 迫力はあるが、説得力を欠く
1961年3月22日 今から中共問題で党首会談を
1961年4月9日 対共産圏の貿易
1961年6月18日 池田首相の訪米に望む
1961年6月19日 社党の基本はどこにあるのか
1961年7月2日 食い足りぬ首相の帰国第一声
1961年12月1日 親善の成果を施策に生かせ
1961年12月8日 明確な主張のない岡崎演説
1961年12月17日 重要性を増した中共加盟問題
1962年1月14日 中共に巻き込まれた社党使節団
1962年1月23日 書記長再選を“脱皮”の機会に
1962年1月30日 中共の術策に乗ぜられるな
1962年4月19日 “穏歩前進”の意味するもの
1962年5月28日 中共の難民を救え
1962年6月29日 台湾海峡の緊張を激化するな
1962年9月21日 “政経不可分”は緩和されたか
1962年10月4日 警戒すべき中共十中全会の背景
1962年10月7日 首相の日中貿易慎重論は当然
1962年10月22日 前向きすぎる日中貿易方針
1962年11月6日 中印国境紛争と“非同盟政策”
1962年11月13日 日中貿易取決めどう受け取る
1962年11月23日 中印交渉の好機を逃がすな
1962年12月12日 中ソ対立激化とソ・ユ両国の接近
1962年12月13日 中印国境紛争と非同盟政策
1963年1月14日 頂点に達した中ソ論争
1963年2月12日 前途多難な中ソ和解への道
1963年3月18日 中ソ共産党会議の複雑な背景
1963年5月12日 中ソ共産党会談で中共の新提案
1963年6月3日 日中関係の基本を再吟味せよ
1963年6月20日 先鋭化した中ソ論争の背景
1963年7月2日 極点に達した中ソ論争
1963年9月11日 警戒すべき中共のアジア政策
1963年9月22日 首相の東南ア歴訪に望むこと
1963年10月23日 中共和国連加盟案否決とその背景
1963年11月12日 日中民間漁業協定の妥結成る
1963年11月15日 中共人民代表大会の課題
1963年12月8日 中共人民大会の教えるもの
1963年12月14日 周中共首相のアフリカ訪問
1964年1月11日 国府の日本非難声明に思う
1964年1月19日 焦点のぼけた首相の記者会見
1964年1月24日 中共に対する日本のあり方
1964年1月29日 フランスの中共承認とアジア
1964年2月12日 国府とフランスの国交断絶
1964年2月17日 中共政策の基本的考え方
1964年2月23日 吉田茂氏の訪台に寄せて
1964年3月5日 最近の中共の言説への考え方
1964年3月12日 日本の威信と責任について
1964年4月6日 フランスから聞きたいこと
1964年4月21日 松村氏の訪中の成果と今後
1964年5月1日 最近やわらかい中共の対日戦略

- 1964年 6 月25日 社会党の訪ソ，訪中に注文する
1964年 7 月 2 日 大平外相の国府訪問に寄せて
1964年 7 月 4 日 解決をみた中共連絡員問題
1964年 7 月20日 北方領土と中ソの発言
1964年 7 月28日 近隣外交を進めるには
1964年 8 月 4 日 分裂をかけた中ソ共産党
1964年 8 月15日 対北と北京からの来客
1964年 9 月 3 日 “国際共産党会議”の波紋
1964年 9 月10日 社会党の訪中，訪英の決定
1964年10月 3 日 中共の核武装とわが国
1964年10月14日 社会党訪中使節団に望む
1964年10月18日 平和へ逆行の中共核実験
1964年10月30日 社党と中共の共同声明
1964年10月31日 米英会談と対中ソ外交
1964年11月 7 日 周首相らのモスクワ訪問
1964年11月 9 日 すっきりしない中ソ関係
1964年11月13日 外交のあり方を考える
1964年11月17日 ほど遠い中ソ対立の調整
1964年11月20日 アジア外交を進めるには
1964年11月26日 首相の国会答弁への不満
1964年11月27日 佐藤内閣の中共への接触
1964年12月 1 日 波乱ふくみの国連総会
1964年12月 4 日 中共の高姿勢と佐藤内閣
1964年12月 7 日 具体性を欠いた椎名演説
1964年12月17日 首相の訪米と中共対策
1964年12月23日 アジアの“核”安保体制
1965年 1 月 1 日 昭和四十年代のはじめに
1965年 1 月 4 日 対中共三原則を提言する
1965年 1 月15日 日米首脳会談を評価する
1965年 1 月17日 日英会談とアジア問題
1965年 1 月21日 首相の記者会見を聞いて
1965年 1 月26日 佐藤色を出した施政演説
1965年 2 月 8 日 政経分離の基本的考え方
1965年 3 月 5 日 ベトナムへの日本の役割り
1965年 3 月26日 “二正面作戦”に立つ中共
1965年 4 月 2 日 AA 式典での対中共姿勢
1965年 4 月 8 日 中共貿易の大きな教訓
1965年 4 月11日 中共機と米機の初の交戦
1965年 5 月16日 中共の第2回核実験
1965年 5 月22日 公館長会議とアジア外交
1965年 6 月 1 日 AA 会議と日本の態度
1965年 6 月 6 日 新たに開くべき中共対策
1965年 8 月 7 日 南発言と日中貿易の前途
1965年 9 月20日 LT 貿易の障害除去の道／危険な中共の最後通告
1965年10月 1 日 陳毅外相発言の重大性
1965年11月 5 日 日米の率直な討議を望む
1965年11月11日 “中国代表権”討議の問題点
1965年11月16日 中ソ対立とベトナム問題
1965年11月19日 “中国代表権”の曲がり角

京都新聞

- 1960年 8月 9日 中国の三原則とは何か
1960年 8月30日 中ソ論争を誇大視するな
1960年11月 8日 中ソ和解説と外交論争
1960年11月29日 陳毅言明は何をねらうか
1960年12月 6日 中ソ妥協は何を生むか
1961年 1月31日 施政演説と外交方針
1961年 2月 7日 中国の弾力性に望む
1961年 3月20日 政界首脳を訪米に望む
1961年 4月 8日 日中貿易の前進に望む
1961年 6月 2日 六一年の国際政治と中共
1961年 6月10日 暗い池田訪米の予想
1961年 8月 4日 国府一本に踏み切った米国
1961年 8月16日 肉づけの欲しい池田外交
1961年11月30日 中国代表権問題と日本
1961年12月 1日 池田首相のアジア認識
1961年12月 8日 中共問題と日本の苦衷
1961年12月17日 次の段階に入る中共問題
1962年 1月14日 相変わらずの社会党
1962年 1月31日 外交を政争の具にするな
1962年 9月21日 成果のあった日中会談
1962年 9月23日 大平演説に加えたいもの
1962年 9月28日 日中問題の進展に望む
1962年10月11日 日中貿易の長期的見方
1962年10月17日 矛盾した社会党の外交方針
1962年10月26日 訪中使節団への期待
1962年11月11日 日中貿易の新たな展開
1962年12月 6日 異例のケネディ発言
1962年12月 7日 首相発言と日米共同声明
1963年 2月 5日 核実験をあせる中共
1963年 6月22日 米ソ通信協定の調印と中共
1963年 7月 6日 中ソ会談の意味するもの
1963年 7月14日 中ソ関係打開への示唆
1963年 8月 1日 中共の教条主義的批判
1963年 9月 7日 嫌な事件の続発を憂える
1963年 9月12日 訪中経済使節を送る
1963年10月 2日 共産圏貿易再検討の機運
1963年11月 9日 調印された日中漁業協定
1963年12月15日 米対中共政策への不安
1964年 1月 1日 厳粛な祖国意識を
1964年 1月 9日 周事件に国府の自重をのぞむ
1964年 1月22日 低調だった施政方針演説
1964年 1月24日 中共承認問題と超党派外交
1964年 1月27日 中共問題と日米経済合同委
1964年 1月28日 フランス、中共の接近
1964年 2月 2日 ドゴールの投げた宿題
1964年 2月12日 日中延べ払いは西欧なみに
1964年 2月13日 択一を迫られる中国問題
1964年 2月19日 日中間の道を広げよう
1964年 2月27日 吉田・蔣会談を終わって

1964年 3 月 1 日	進展する中国の平和外交
1964年 3 月 6 日	政府の対中国統一見解
1964年 3 月12日	延期された日華協力委
1964年 4 月 2 日	日仏会談に期待する
1964年 4 月18日	激しい中ソ対立の波紋
1964年 4 月21日	日中関係の新たな展開
1964年 5 月 7 日	中ソの対日 “微笑外交”
1964年 5 月10日	外交政策再検討の時期
1964年 7 月17日	激動のなかの対日攻勢
1964年10月 1 日	迫る中国核実験の波紋
1964年10月15日	社会党訪中使節団に望む
1964年10月18日	激変期の世界に対処して
1964年10月24日	ウ・タント提案を支持する
1964年11月15日	極東新情勢と日本の安全
1964年11月28日	激動期のわが国連外交
1964年11月22日	佐藤内閣の政治姿勢
1964年12月 1 日	国連外交に自主性を
1964年12月 8 日	準備不足の自主外交
1964年12月16日	流動する中国代表権問題
1965年 1 月 7 日	アジア情勢と日本の役割
1965年 1 月10日	佐藤首相訪米の意義
1965年 1 月14日	日米首脳初会談の成果
1965年 1 月17日	転換期の中国貿易
1965年 1 月31日	国民の納得する外交を
1965年 3 月26日	中国のベトナム介入宣言
1965年 4 月 7 日	中国向け貨物船輸出の破約
1965年 4 月 8 日	AA 会議十周年式典と日本の立場
1965年 5 月16日	中国核実験の影響
1965年 6 月 6 日	佐藤体制確立への基盤
1965年 6 月13日	世界軍縮会議案と中国
1965年 9 月 1 日	国連加盟国の正しい姿勢
1965年 9 月25日	ゴールドバーグ演説の印象／国連日本代表への注文
1965年10月28日	中国の AA 会議不参加声明
1965年11月10日	中国代表権のゆくえ
1965年11月17日	国連と中国問題
1965年11月19日	国連の表決と日本の今後
1965年11月25日	世界軍縮会議と中国

神戸新聞

1960年 7 月28日	外交方針に広い視野を
1960年 9 月 2 日	日中貿易の新しいきざし
1960年11月15日	これからの中国と台湾
1960年12月 7 日	平和共存で結ぶ共産圏
1961年 2 月28日	中国問題をどうするか
1961年 4 月11日	微妙な中国国連加入の道
1961年 6 月12日	日米会談の焦点は中国
1961年 6 月16日	首相の訪米に望む
1961年 6 月24日	日米新時代から新路線へ
1961年 7 月 1 日	池田首相の帰国を迎えて
1961年 9 月29日	より高い理念の外交を

- 1961年12月8日 日本のアクロバット外交
1961年12月12日 細胞分裂起こす共産圏
1962年2月3日 金門、馬祖の放棄を促す
1962年3月29日 やっと開かれた人民大会
1962年4月20日 中国の新しい対外政策
1962年5月13日 東南アジアの熱い戦争
1962年6月26日 台湾海峡の新しい危機
1962年9月21日 日中貿易の積み上げ
1962年11月1日 弾力的でありたい国連外交
1962年11月8日 雪が解決する中印紛争
1962年11月11日 軌道に乗る日中貿易
1963年1月21日 休戦ラッパ吹く共産圏
1963年6月2日 中ソ会談へソ連の態度
1963年6月20日 百パーセント主義の中国路線
1963年7月16日 決裂した中ソ党会談
1963年8月17日 憶病すぎる日本の外交
1963年9月5日 気になる中国のこんご
1963年9月8日 北へ逃げた中国亡命者
1963年9月20日 まだ残る戦争のツメ跡
1963年10月3日 評価したい「池田外交」
1963年11月14日 遅れて開く中国人民大会
1963年11月20日 国府と中共の板ばさみ
1963年12月5日 中国人民大会の表と裏
1964年1月26日 一つの中国、一つの台湾
1964年1月29日 変化とげる中国の態度
1964年2月2日 台湾のクーデター未遂
1964年2月13日 失敗した「一つの台湾」
1964年2月24日 吉田氏は言動を慎重に
1964年3月30日 盛り上がる日中貿易熱
1964年4月5日 中ソの冷戦ふたたび
1964年4月11日 フランスの現実外交
1964年5月11日 水臭い中ソの援助論争
1964年5月26日 弾力的な政経分離へ
1964年7月16日 革命の歴史に年輪の差
1964年7月24日 池田外交の姿勢を問う
1964年8月7日 戦争拡大より話し合いへ
1964年8月10日 上げ潮に乗る日中貿易
1964年9月2日 共産圏の分裂避けられず
1964年10月2日 “武者修行”のつもりで
1964年10月8日 中国核実験説の波紋
1964年10月18日 憂うべき中国の核実験
1964年10月23日 共産圏の分極化は進む
1964年10月30日 中国ペースの共同声明
1964年11月9日 中ソの接近には限界
1964年11月15日 多文化世界に生きる道
1964年11月29日 曲がりかどの国連外交
1964年12月25日 日中貿易に明るい期待
1965年1月21日 中国の抜けたアジア外交
1965年1月30日 腹の決まらぬ自主外交
1965年2月10日 曲がりかどの日中貿易

1965年 3月11日 共産世界にも南北対立
 1965年 3月27日 ベトナムに危機深まる
 1965年 4月 7日 こんな態度でよいのか
 1965年 4月11日 中国介入の前触れか
 1965年 5月16日 中国二度目の原爆実験
 1965年 5月28日 階級章を捨てた中国軍
 1965年 6月18日 民族解放派の音頭とり
 1965年 9月 2日 着実に伸びる日中貿易
 1965年 9月22日 大寫しとなる中国の影
 1965年10月30日 脚光あびる友好貿易
 1965年11月 4日 分裂を食い止めた AA
 1965年11月18日 再び荒れ模様の共産圏
 1965年11月19日 紙ひとえの「中国加盟」

中国新聞

1960年 7月27日 アジア外交の転機
 1960年 8月28日 “日中国民友好” は疑問
 1960年 9月 1日 日中貿易の再開望む
 1960年 9月15日 日中貿易問題の進展
 1960年 9月21日 党首会談と日中問題
 1960年10月10日 見送りの中国加盟問題
 1960年11月24日 中ソ対立は解けないか
 1960年11月29日 注目される中国の動向
 1960年12月29日 これからの日中問題
 1961年 1月19日 日中関係の問題点
 1961年 1月30日 外交の弾力性の問題
 1961年 2月22日 日本外交に新風を
 1961年 2月23日 中国のキキンに援助を
 1961年 3月11日 首相訪米と中共問題
 1961年 3月13日 前向き姿勢の具体性
 1961年 4月11日 浅沼発言の処置問題
 1961年 4月16日 煮えつまる中共問題
 1961年 6月23日 中共を敵視せず
 1961年 7月 2日 首相の訪米報告
 1961年 7月 8日 一石二鳥の朝ソ同盟
 1961年11月15日 日本のアジア外交
 1961年12月 2日 日米合作外交の推進
 1961年12月 7日 中国代表権問題と日本
 1961年12月26日 社党代表の訪中使命
 1962年 1月 6日 訪中使節団の使命
 1962年 1月15日 期待外れた共同声明
 1962年 1月16日 “浅沼発言” の再確認は問題
 1962年 1月30日 統一見解による高姿勢
 1962年 2月13日 反米あおる中共の現状
 1962年 6月26日 金門、馬祖の情勢緊迫
 1962年 9月19日 日中貿易の底辺
 1962年 9月20日 国連総会と中国代表権
 1962年 9月21日 日中関係の新しい進展
 1962年 9月28日 政治的に利用されるか
 1962年10月11日 対中国延払い条件

- 1962年11月6日 日中両国をめぐる流れ
1962年11月11日 日中に通じたパイプ
1963年1月4日 中ソ関係はどう動く
1963年5月16日 中国核武装の危険
1963年5月25日 中ソ論争の今後
1963年6月25日 中国はどこへ行く
1963年6月26日 二つの共同声明
1963年7月2日 注目される中ソ会談
1963年7月7日 中ソ会談とわが国
1963年7月31日 パリと北京
1963年8月13日 中国問題と米の態度
1963年8月27日 静観しかないだろう
1963年9月15日 マラヤ補償について
1963年10月12日 「中共の評価」をめぐるって
1963年11月8日 国府との外交関係悪化
1963年11月20日 再燃する中ソ論争
1963年11月28日 米・中共隔絶を憂える
1963年12月4日 中ソ対立の現時点
1964年1月8日 中国問題を考える
1964年1月22日 「アジアの連帯」について
1964年1月26日 中国をめぐる波紋
1964年1月29日 「二つの中国」のゆくえ
1964年1月30日 台湾婦人と国民外交
1964年2月2日 国際新事態とわが国
1964年2月4日 対中国前向きの態度
1964年2月12日 対仏断交と国府の立ち場
1964年2月24日 吉田元首相の訪台
1964年2月28日 反共の基本は一つでも
1964年8月13日 反国連の潮流と日本
1964年9月4日 “紙の上の戦い”と冷戦
1964年10月1日 日中相互理解の現段階
1964年10月13日 複雑化する対中国関係
1964年10月16日 訪中使節団の立ち場
1964年10月18日 中国核実験の波紋
1964年11月9日 中ソは和解するか
1964年11月24日 国会論議の二本の柱
1964年11月25日 佐藤首相の初答弁
1964年11月26日 新内閣の外交基調
1964年12月16日 共産主義と国家利益
1964年12月20日 緩衝役の日本外交
1964年12月22日 新安保の必要はない
1965年1月10日 佐藤首相訪米の背景
1965年1月15日 日米会談と外交姿勢
1965年1月21日 アジア政策を積極的に
1965年1月31日 外交路線を明確に
1965年2月8日 頂門の一針
1965年2月10日 日中貿易とプラント輸出
1965年2月15日 中ソ条約と日本
1965年4月6日 バンドン使節の重要性
1965年5月16日 中国二度目の蛮行

1965年 6 月 5 日 自主的なアジア外交を
 1965年 7 月23日 中ソの違いと共通点
 1965年 8 月 8 日 内政干渉と中国代表
 1965年 8 月11日 シンガポール独立と日本
 1965年 9 月12日 話し合いの席につけ
 1965年 9 月13日 中国代表権の動向
 1965年 9 月25日 中国代表権問題と日本
 1965年10月 2 日 陳毅言明と日本の立ち場
 1965年10月15日 冷却する中ソ関係
 1965年10月31日 アジアと東西問題
 1965年11月 5 日 AA 諸国の経済的連帯
 1965年11月19日 中国代表権のタナ上げ
 1965年11月29日 中ソと北ベトナムの間
 1965年12月30日 米中対立を憂える

20万部以上

新潟日報

1960年 9 月 4 日 日中貿易に新展開を
 1960年10月 3 日 “平和共存” の示唆するもの
 1960年11月 2 日 日中貿易再開をひかえて
 1960年12月 6 日 中ソの論争は解決したが
 1960年12月25日 中・ソ貿易拡大への期待
 1961年 2 月 8 日 日中貿易の改善と国会論議
 1961年 2 月20日 中国の食糧危機と援助
 1961年 3 月22日 日中問題と三党首会談
 1961年 4 月 9 日 一歩前進の日中貿易
 1961年12月 4 日 中国代表権問題と日本の立場
 1961年12月10日 注目されるカナダ案
 1962年 1 月15日 共同声明への不満
 1962年 2 月 1 日 日中関係を現実に即して
 1962年 4 月15日 中ソ接近への期待
 1962年 5 月21日 日中貿易は前向きで
 1962年 7 月 2 日 参院選後の大きな課題
 1962年 8 月 4 日 浅沼発言の訂正と社会党
 1962年 8 月 9 日 日中貿易の正常化を望む
 1962年 9 月11日 わざわいの根元に手を打て
 1962年 9 月27日 日中貿易の新しい事態
 1962年10月11日 日中貿易を“前向き”で
 1962年10月31日 訪欧の首相に注文する
 1962年11月13日 軌道に乗る日中貿易
 1962年12月 6 日 中共対策に自主性を持て
 1962年12月14日 フルシチョフ、中国をしかる
 1962年12月21日 中共の危険な見解
 1963年 6 月22日 中国の戦争観は危険
 1963年 7 月19日 注目を要する中ソ会談
 1963年 8 月23日 日中貿易の転機に際して
 1963年 9 月10日 深刻化する中ソの対立
 1963年10月27日 対共産圏貿易の転換期
 1963年11月30日 “自主外交” と “二つの中国”

- 1963年12月13日 仏・中国国交正常化成るか
- 1964年 1 月14日 右往左往は見苦しい
- 1964年 1 月22日 自主外交か、大勢順応か
- 1964年 1 月29日 フランスの中共承認
- 1964年 2 月 6 日 吉田元首相の国府訪問
- 1964年 2 月10日 消極的な政府の中国政策
- 1964年 2 月24日 日中貿易の拡大を望む
- 1964年 2 月26日 “吉田発言” をめぐる不安
- 1964年 3 月11日 憂うべき “よろめき外交”
- 1964年 4 月 2 日 中ソの対立をどう見る
- 1964年 4 月16日 中共貿易展の意義
- 1964年 5 月14日 中ソ対立激化の波紋
- 1964年 7 月 7 日 大平外相、国府訪問の成果／日中貿易連絡員の交換
- 1964年 8 月 3 日 中ソの対立と革新政党
- 1964年10月11日 中国の核実験の波紋
- 1964年10月15日 社会党訪中使節団に望む
- 1964年10月18日 中国の核実験に抗議する
- 1964年10月30日 “浅沼” 調の日中共同声明
- 1964年11月 6 日 中国代表団のソ連派遣
- 1964年11月 8 日 中ソ論争の日は消えるかどうか
- 1964年11月12日 注目を要する中ソ会談
- 1964年12月 6 日 軌道に戻った日中貿易交渉
- 1964年12月10日 超党派外交を推進せよ
- 1965年 1 月15日 日米共同声明の発表
- 1965年 1 月19日 “佐藤訪米” の国際的評価
- 1965年 1 月27日 周恩来中国首相の国連改組要求
- 1965年 4 月 8 日 傾聴すべき周首相の提案
- 1965年 4 月10日 日中貿易縮小の不安
- 1965年 4 月21日 日中関係調整を期待する
- 1965年 5 月16日 中国の第二回核実験
- 1965年 5 月27日 中共に緊張緩和姿勢を
- 1965年 6 月11日 変容する AA 会議と日本
- 1965年 8 月 8 日 南漢宸発言と日中貿易
- 1965年 9 月21日 中国覚え書きの危険性
- 1965年10月16日 アジアの情勢と中国の強硬路線
- 1965年11月10日 中国代表権問題と日本の役割り
- 1965年11月19日 かけ橋の役割りを果たせ
- 1965年11月26日 軍縮委に中国の参加を
- 1965年11月30日 中ソ論争の再開とベトナム問題

北国新聞

- 1960年10月22日 現実的でない施政演説
- 1960年11月 8 日 外交政策転換の好機
- 1960年11月26日 共産圏首脳会議に注目
- 1960年12月15日 日中貿易緩和は一步前進
- 1961年 1 月 5 日 日中打開の基本方針
- 1961年 1 月31日 施政演説に好感と懸念
- 1961年 2 月 8 日 日中関係は日米関係
- 1961年 3 月10日 中国問題の討議打ち切り
- 1961年 3 月14日 対中国態度に弾力性を

- 1961年 4月10日 日中貿易に前進の姿勢を
1961年 4月11日 卓球大会と日中の友好
1961年 4月12日 米英会談の意義と中国問題
1961年 5月15日 日中貿易に正しい評価を
1961年 5月31日 訪米勉強に望むもの
1961年 6月22日 訪米会談の池田首相へ
1961年 6月24日 日米首脳会談の成果
1961年 7月13日 二軍事同盟に恐れる者
1961年 9月29日 低調すぎる施政方針演説
1961年10月12日 ことしも大不作の中共
1961年11月21日 中国代表権問題とわが国
1961年12月 8日 現実を認め自主的解決を
1961年12月18日 重要事項指定について思う
1962年 1月20日 施政方針演説を聞いて
1962年 4月26日 中国事情と対ソ関係
1962年 9月22日 松村・周会談の合意を喜ぶ
1962年10月12日 日中貿易拡大のルールを
1962年10月27日 高碕訪中使節団に期待
1962年12月 7日 日米経済委の成果
1962年12月 8日 国民の納得できる議論を
1962年12月11日 外交核心外した首相演説
1963年 1月 1日 人類を守る道（北國新聞主筆 上山南洋）
1963年 1月10日 中ソ論争はどこへ行く
1963年 3月 7日 中ソ論争の現段階と日本
1963年 6月21日 大国の戦争論議と日本
1963年 7月 5日 中ソ会議とソ連
1963年11月28日 新情勢下の東西関係
1964年 1月 1日 国際情勢に新しい流れ
1964年 1月21日 望ましい一つの中国
1964年 1月22日 具体性施策を欠く首相演説
1964年 1月28日 民社党は勇気を持て
1964年 1月30日 新段階を迎えた日米関係
1964年 2月 4日 流動するアジア情勢
1964年 2月13日 国府の対仏断交に思う
1964年 2月18日 共産圏貿易の再検討が必要
1964年 3月 3日 周首相の旅行と日中関係
1964年 4月 2日 中仏新関係後の日本
1964年 4月14日 中国見本市に思うこと
1964年 7月21日 中ソの対日接近に注目
1964年 8月18日 日中貿易について提案
1964年10月19日 核兵器に“善意”の組織を望む
1964年11月 1日 日曜談話室：ナゾの微笑（本社論説委員長 小川 夫）
1964年11月 9日 なお流動的な中ソの関係
1964年11月16日 いぜんきびしい中ソ関係
1964年11月20日 佐藤内閣に自主的外交を
1964年11月22日 具体性を欠いた佐藤演説
1964年12月 1日 国連総会に期待する
1964年12月 6日 日曜談話室：ことばの遊戯（本社論説副委員長 荒谷余十勝）
1964年12月 8日 対中国外交に統一見解を
1965年 1月 1日 風に向かう（北國新聞主筆 上山南洋）

- 1965年 1 月 5 日 国民審判の年に
- 1965年 1 月15日 物足りぬ日米首脳会談
- 1965年 1 月21日 新味のない首相記者会見
- 1965年 1 月26日 具体策に乏しい首相演説
- 1965年 3 月 5 日 対岸貿易を伸ばす時
- 1965年 3 月 7 日 日曜談話室：ニチボーと政治（本社論説委員長 荒谷余十勝）
- 1965年 4 月 8 日 日中貿易に自主性をもて
- 1965年 4 月13日 川島特使の出発に望む
- 1965年 5 月19日 ベトナム平和と日本外交
- 1965年 6 月13日 日曜談話室：佐藤外交（本社論説委員長 荒谷余十勝）
- 1965年 6 月19日 参院選の党首遊説から
- 1965年 7 月14日 ベトナム平和への新努力
- 1965年 8 月 4 日 日中貿易に輸銀を使え
- 1965年 9 月18日 中国代表権問題に自主性を
- 1965年 9 月22日 印・パ問題は国連の試金石
- 1965年10月17日 日曜談話室：この1年（本社論説委員長 荒谷余十勝）
- 1965年11月10日 中国問題への態度
- 1965年11月21日 日曜談話室：若い国連（本社論説副委員長 門田浩）

信濃毎日新聞

- 1960年 8 月31日 日中打開と周声明
- 1960年12月 3 日 中ソ論争は未調整か
- 1960年12月25日 日中打開に前向きの実行を
- 1961年 4 月 8 日 日中貿易を軌道に乗せよ
- 1961年 6 月24日 今後にかかる日米会談の成果
- 1961年12月 1 日 中国代表権討議と日本
- 1961年12月 8 日 二つの中国論か
- 1961年12月17日 中国代表権問題と今後
- 1961年12月29日 鈴木使節団の訪中に望む
- 1962年 1 月15日 浅沼発言の再確認
- 1962年 1 月20日 施政方針演説を聞いて
- 1962年 1 月24日 社会党は多数派への道を開け
- 1962年 1 月25日 代表質問の論戦を顧みて
- 1962年 1 月30日 日中問題の論戦は冷静に
- 1962年 6 月29日 台湾海峡の緊張
- 1962年 9 月21日 中共の柔軟性を歓迎する
- 1962年 9 月23日 大平演説と国連外交
- 1962年 9 月28日 日中貿易に米国の理解を求む
- 1962年10月18日 日中貿易拡大の道
- 1962年10月27日 中印国境はまず戦闘停止から
- 1962年11月11日 日中貿易調印を歓迎する
- 1962年11月22日 中印紛争を交渉に移す好機
- 1962年12月14日 フ首相の自信と中ソ関係
- 1962年12月29日 油送管問題と対共産圏貿易
- 1963年 7 月 2 日 中ソ論争と「平和共存」
- 1963年 9 月17日 マレーシア連邦の発足
- 1963年 9 月23日 首相の四ヵ国訪問に寄す
- 1963年11月10日 日中漁業協定を喜ぶ
- 1963年12月 5 日 中共の「自力建設」
- 1963年12月31日 周事件の落着に思う

1964年 1 月19日 迫る仏国の承認と中国問題
 1964年 1 月25日 進展せぬ中国問題の論戦
 1964年 1 月29日 仏国の中共承認と今後
 1964年 2 月12日 国府の対仏断交
 1964年 2 月14日 重要な大平外相の発言
 1964年 2 月19日 日中交流促進の廖氏提案
 1964年 2 月27日 吉田訪台の成果と日中関係
 1964年 3 月10日 日韓、日中問題と現実外交
 1964年 5 月13日 日中関係の新段階に対処せよ
 1964年 7 月19日 社党の訪ソ、訪中と北方領土
 1964年 7 月22日 池田首相の実行を待つ
 1964年 8 月 9 日 日本のアジア外交を
 1964年10月11日 社会党訪中使節団に望む
 1964年10月18日 遺憾な中国の核実験
 1964年10月31日 共同声明に見る社会党訪中
 1964年11月11日 佐藤内閣の方針をもっと示せ
 1964年12月21日 臨時国会から通常国会へ
 1965年 1 月26日 首相の施政演説をきいて
 1965年 1 月30日 物足りない外交論争
 1965年 2 月10日 日中貿易の障害にするな
 1965年 3 月24日 中ソ対立激化とベトナム危機
 1965年 4 月 2 日 川島特使派遣とアジア外交
 1965年 4 月 7 日 日中貿易を軌道に乗せよ
 1965年 4 月18日 AA 会議十年のアジアと日本
 1965年 4 月26日 川島特使の成果と今後
 1965年 5 月 8 日 日中貿易の障害を除け
 1965年 5 月16日 遺憾な中共の核実験強行
 1965年 7 月16日 日米経済委と懸案の今後
 1965年 9 月20日 第二十回国連総会と日本
 1965年 9 月21日 期待はずれの日中貿易協定
 1965年10月 1 日 陳毅外相の強硬発言
 1965年10月29日 後退した中共の AA 外交
 1965年11月 2 日 「善隣友好」の明確な展望を
 1965年11月19日 中国代表権表決を示すもの

静岡新聞

タイトルのないものは内容を（ ）で示した

1960年 7 月26日 （中共と人口問題：（堀毛一麿））
 1960年 8 月26日 （中ソ対立：（堀毛一麿））
 1960年 9 月 6 日 （中共の軍事的冒険：（堀毛一麿））
 1960年 9 月12日 （衆議院総選挙と各党の立場：（原勝））
 1960年 9 月27日 （中ソ論争：（堀毛一麿））
 1960年10月 5 日 （中共農業の現実：（堀毛一麿））
 1960年10月 7 日 （中ソ論争・修正主義：（堀毛一麿））
 1960年10月16日 （金門・馬祖防衛：（大井篤））
 1960年10月17日 （国連における中共：（杉原荒太））
 1960年10月22日 （中共の国連加盟問題：（近藤泰一郎））
 1960年11月26日 （中ソ関係の調整：（堀毛一麿））
 1960年11月28日 （台湾の軍事演習：（堀毛一麿））
 1960年12月29日 （日本の中共政策：（堀毛一麿））

- 1961年1月4日（国際情勢変化困難・日本の中共政策：（大井篤））
 1961年1月11日（社会党の日中国交回復運動批判：（高山岩男））
 1961年1月27日（中共農業の実態：（堀毛一磨））
 1961年1月29日（国会の対中外交論議と中共農業の現実：（大井篤））
 1961年2月7日（中ソ農業不振：（高山岩男））
 1961年2月10日（中共・対日三原則への疑問：（高山岩男））
 1961年2月22日（対中共外交について：（堀毛一磨））
 1961年3月8日（英米両国の中共認識・政策：（近藤泰一郎））
 1961年3月10日（中共に卑屈な日本知識人：（高山岩男））
 1961年3月17日（社会党と中共：（高山岩男））
 1961年3月25日（日本の対中共政策：（堀毛一磨））
 1961年4月5日（“二つの中国”について：（高山岩男））
 1961年4月15日（中共大凶作：（稲宮又吉））
 1961年4月16日（中共の国連加盟問題：（堀毛一磨））
 1961年5月1日（「バスに乗り遅れるな」批判：（松村秀逸））
 1961年6月29日（モンゴルの現況：（堀毛一磨））
 1961年7月9日（日米首脳会談における中共問題：（高山岩男））
 1961年7月11日（中ソ対立：（堀毛一磨））
 1961年7月12日（日本における中共問題：（大井篤））
 1961年7月28日（社会党・積極中立政策批判：（近藤泰一郎））
 1961年8月16日（社会党中共訪問問題：（高山岩男））
 1961年9月14日（国連総会と外交方針の確立（堀毛一磨））
 1961年9月28日（中共農業の実相はどうか（堀毛一磨））
 1961年11月29日（ヒビのいった中ソ対立（堀毛一磨））
 1961年12月13日（岡崎演説は及第だ（大井篤））
 1961年12月21日（中共、対外強硬路線へ転換か（堀毛一磨））
 1962年1月19日（社会党訪中使節反省せよ（堀毛一磨））
 1962年1月22日（中共に惨敗した社会党（唐島基智三））
 1962年1月24日（不見識きわまる日中共同声明（高山岩男））
 1962年1月25日（期待を裏切った社会党（唐島基智三））
 1962年1月27日（訪中使節団への三つの疑問（近藤泰一郎））
 1962年2月20日（中ソ対立の新段階（堀毛一磨））
 1962年4月6日（中ソの対立と日本の左派（堀毛一磨））
 1962年4月16日（中ソ関係は悪化か妥協か（堀毛一磨））
 1962年4月21日（中共人民代表大会の関心事（堀毛一磨））
 1962年5月30日（文化面に見る中ソの開き（堀毛一磨））
 1962年6月3日（中ソ関係は改善か（堀毛一磨））
 1962年6月12日（平和五原則はどこに行った？（堀毛一磨））
 1962年6月27日（冷静に中共の現実を見よう（堀毛一磨））
 1962年6月28日（台湾海峡緊張の背景（堀毛一磨））
 1962年6月30日（蔣総統と大陸反攻（大井篤））
 1962年9月29日（中共側の変化（唐島基智三））
 1962年10月1日（中共の配慮物資の精神は？（高山岩男））
 1962年10月3日（軽率すぎる米当局（唐島基智三））
 1962年10月6日（中印国境紛争の教えるもの（堀毛一磨））
 1962年10月9日（協調と自主の外交の必要（近藤泰一郎））
 1962年10月16日（日中貿易の問題点（堀毛一磨））
 1962年10月25日（中共貿易はスリ足で（稲宮又吉））
 1962年11月6日（対中共貿易について望む（堀毛一磨））
 1962年11月12日（日本アジア外交の試練（大井篤））

- 1962年11月15日 日中貿易協定の復活（唐島基智三）
1962年11月17日 中印紛争と中立主義諸国（高山岩男）
1962年11月26日 中共の停戦がねらうもの（大井篤）
1962年12月24日 ユーゴを巡り中ソの対立（堀毛一磨）
1962年12月25日 中ソの平和共存破る（高山岩男）
1963年1月8日 中印の戦訓から（堀毛一磨）
1963年1月22日 中ソの対立に中立は可能か（高山岩男）
1963年1月24日 中ソ論争と自由陣営の立ち場（堀毛一磨）
1963年1月28日 中ソの将来（高山岩男）
1963年2月2日 中ソ論争と左翼の自主性（堀毛一磨）
1963年2月27日 総評の中共核武装観（高山岩男）
1963年3月18日 中ソの話し合いが始まるか（堀毛一磨）
1963年4月22日 中共の失地回復の態度（堀毛一磨）
1963年5月8日 躍進号沈没の余波（大井篤）
1963年5月12日 二つの中国の現実（堀毛一磨）
1963年5月24日 中ソ会談の見通し（堀毛一磨）
1963年5月27日 日本とインドネシアとの友好（堀毛一磨）
1963年6月15日 対中共貿易に望むこと（堀毛一磨）
1963年6月25日 中ソの愛国精神運動（堀毛一磨）
1963年7月3日 対立の様相が変わった中ソ（堀毛一磨）
1963年7月7日 中ソのイデオロギー対立（高山岩男）
1963年7月16日 モスクワ会談（堀毛一磨）
1963年7月20日 米英ソ核停会議と中ソ対立（大井篤）
1963年7月21日 核戦争に対する中ソの評価（高山岩男）
1963年7月22日 中ソ抗争にみる人間性の勝利（大井篤）
1963年7月27日 中ソ決裂の後に来るもの（堀毛一磨）
1963年7月31日 中共の動向に注意（近藤泰一郎）
1963年8月23日 日本人の中国観（高山岩男）
1963年8月25日 ナショナル・インタレスト（高山岩男）
1963年9月9日 中ソ対立の新段階（堀毛一磨）
1963年9月13日 対大陸中国政策を考えるために（大井篤）
1963年9月19日 中ソ抗争が誘う黄禍論（大井篤）
1963年9月21日 中ソ国境紛争表面化（堀毛一磨）
1963年9月23日 中ソ宣伝戦の渦巻き（堀毛一磨）
1963年9月29日 日中交流活発化に対する用意（堀毛一磨）
1963年10月5日 中共貿易と国府の恩義（近藤泰一郎）
1963年10月6日 ソ中対立の「決定的段階」（堀毛一磨）
1963年10月14日 「亡命ショー」の示すもの（堀毛一磨）
1963年11月2日 中ソ抗争の日本への影響（大井篤）
1963年11月13日 選挙戦上の中ソ対立論（堀毛一磨）
1963年11月27日 その後の中ソ国境紛争（堀毛一磨）
1963年12月2日 日中文化交流は純粋に（堀毛一磨）
1963年12月25日 ソ連の平和共存政策と中共（大井篤）
1963年12月27日 中共の外交内政・回顧と展望（堀毛一磨）
1964年1月4日 国府の自重を望む（近藤泰一郎）
1964年1月16日 国府が怒る理由（高山岩男）
1964年1月22日 尻から二番目ではダメだ（唐島基智三）
1964年1月24日 中共事情の確認がさき（堀毛一磨）
1964年1月28日 フランスの中共承認の背景（大井篤）
1964年1月29日 中共の国連加盟問題（近藤泰一郎）

- 1964年1月31日 綿密な打算・ドゴール外交（堀毛一磨）
1964年2月3日 中共の加盟した国連（大井篤）
1964年2月5日 「二つの中国」の困難さ（大井篤）
1964年2月8日 対国府外交の基本再確認（堀毛一磨）
1964年2月9日 中共承認には筋の通る議論を（高山岩男）
1964年2月23日 フランスの中共承認と極東戦略（大井篤）
1964年2月25日 外交に主体性を（堀毛一磨）
1964年2月26日 吉田元首相と蒋介石（唐島基智三）
1964年3月1日 中共の脅威を感じない理由（大井篤）
1964年3月2日 どこまで及ぶ中ソ対立の影響（堀毛一磨）
1964年3月12日 中共の高姿勢とその背景（高山岩男）
1964年3月14日 ぬりくりは許されない（堀毛一磨）
1964年3月15日 民族的親近感ということ（堀毛一磨）
1964年3月25日 「台湾解放」・「大陸光復」（大井篤）
1964年4月2日 中ソの対立がきびしさを増す（堀毛一磨）
1964年4月3日 国府の不満を真剣に聞け（近藤泰一郎）
1964年4月12日 中ソ対立から何を学ぶべきか（高山岩男）
1964年4月24日 中共見本市を見て（堀毛一磨）
1964年4月27日 中共見本市と社会主義（大井篤）
1964年5月8日 中共の反論「八評」の示唆（堀毛一磨）
1964年5月10日 日本と中共の相互誤解（高山岩男）
1964年5月13日 国際共産主義の国境問題（堀毛一磨）
1964年5月21日 中ソのアジア獲得競争（高山岩男）
1964年6月23日 平和ムードの不安（堀毛一磨）
1964年7月5日 自主外交とは何か（高山岩男）
1964年7月10日 「大陸反攻」は夢か（大井篤）
1964年7月16日 中ソ対立は第四インターへ？（堀毛一磨）
1964年7月20日 わが国の二元外交（近藤泰一郎）
1964年8月8日 軍事面に見る中ソ対立（堀毛一磨）
1964年9月25日 聞き捨てにならぬこと（堀毛一磨）
1964年9月30日 愚かなる哲学的論議（高山岩男）
1964年10月5日 核軍備は中共全体の損（大井篤）
1964年10月6日 日中記者交換（高山岩男）
1964年10月8日 ケナン論文に対する一考察（上）（井本晴久）
1964年10月9日 ケナン論文に対する一考察（下）（井本晴久）
1964年10月18日 社会党の訪中使節団（大井篤）
1964年10月19日 中共の原爆実験と偵察衛星（大井篤）
1964年10月22日 社会党の訪中使節に望む（堀毛一磨）
1964年10月24日 安直過ぎる大国意識（高山岩男）
1964年10月26日 中共の核爆発実験の影響（近藤泰一郎）
1964年11月5日 新情勢と国防（井本晴久）
1964年11月6日 社会党は軽率ではないか（高山岩男）
1964年11月7日 中共の核保有を無害にする（大井篤）
1964年11月9日 世界の新情勢と新戦略（堀毛一磨）
1964年11月14日 国家の安全保障の確立（井本晴久）
1964年11月16日 佐藤内閣と中国問題の問題点（大井篤）
1964年11月20日 抑制力の論理（高山岩男）
1964年11月28日 真の友好を求めるなら（堀毛一磨）
1964年12月5日 共産中国の“白日夢”（唐島基智三）
1964年12月6日 国連の危機と日本（大井篤）

- 1964年12月7日 当面の外交と軍事（井本晴久）
1964年12月13日 プロレタリア独裁と人民国家（高山岩男）
1964年12月15日 核拡散への動き（堀毛一磨）
1964年12月28日 中国問題と佐藤首相（大井篤）
1964年12月31日 中共の対日攻勢を回想する（堀毛一磨）
1965年1月3日 首相の訪米に注文する（唐島基智三）
1965年1月4日 国際潮流の展望（井本晴久）
1965年1月7日 「中共問題の年」に寄せて（大井篤）
1965年1月11日 ジョンソン教書の中共観（大井篤）
1965年1月12日 社会正義に対する硬教育（堀毛一磨）
1965年1月18日 日米首脳会談の新局面（唐島基智三）
1965年1月23日 首相訪米の成果果たして如何（井本晴久）
1965年1月26日 AA 会議に対する用意（堀毛一磨）
1965年1月29日 対中共貿易上の注意（堀毛一磨）
1965年2月6日 中国代表権問題の空しさ（大井篤）
1965年2月7日 アジアの激動に対処して（井上晴久）
1965年2月12日 自主外交の大前提（高山岩男）
1965年2月23日 納得できぬ中共発言（唐島基智三）
1965年2月24日 中ソとベトナム（堀毛一磨）
1965年3月22日 中共学生のモスクワ・デモ事件（高山岩男）
1965年3月28日 日本人の主体性は何処に（高山岩男）
1965年4月2日 平和を乱す者は誰か（高山岩男）
1965年4月8日 バンドン精神は何処に（高山岩男）
1965年4月10日 中央委総会後のクレムリンの動き（堀毛一磨）
1965年4月14日 契約破棄の教訓を生かせ（堀毛一磨）
1965年4月16日 漢民族の尊大と頑固さ（高山岩男）
1965年4月29日 AA 会議にどう対処するか（堀毛一磨）
1965年4月30日 中共の第二国連結成（高山岩男）
1965年5月1日 中国人の弾力性（有竹修二）
1965年5月3日 ベトナム情勢をどう見るか（大井篤）
1965年5月21日 対立する中ソ外交の現実（堀毛一磨）
1965年5月25日 核武装のエスカレーション（雨宮 蔵）
1965年5月29日 中共核開発に正しい評価を（大井篤）
1965年5月31日 中共軍制改革の示唆するもの（堀毛一磨）
1965年6月4日 中共のベトナム戦略と日本（大井篤）
1965年6月7日 中共軍の階級性の廃止（高山岩男）
1965年6月18日 期待しすぎるな A・A 会議（大井篤）
1965年6月24日 恐ろしいのは内戦・内乱（堀毛一磨）
1965年7月2日 未来社会のビジョン（堀毛一磨）
1965年7月26日 対中共貿易の現状と将来（堀毛一磨）
1965年8月10日 中共代表の総評批判（高山岩男）
1965年8月12日 一寸の虫に五分の魂（堀毛一磨）
1965年8月26日 アジア研究の重要なテーマ（堀毛一磨）
1965年9月11日 カシミールと米・中・ソ関係（大井篤）
1965年9月15日 金門砲撃の七年目（堀毛一磨）
1965年9月25日 貿易外交の姿勢を正すとき（堀毛一磨）
1965年9月28日 前途波乱万丈のアジア情勢（井本晴久）
1965年10月2日 「動乱台風」の動きを見極めよ（堀毛一磨）
1965年10月24日 中共外交の高姿勢と軍事（堀毛一磨）
1965年10月31日 中共の孤立と焦慮（堀毛一磨）

- 1965年11月9日 ベトナム戦争の現段階（井本晴久）
- 1965年11月17日 中ソ抗争を激化させたベトナム（大井篤）
- 1965年11月19日 中共のソ連非難（高山岩男）
- 1965年11月20日 風雲動く天下三分の勢い（堀毛一磨）
- 1965年11月21日 日本外交の転換（唐島基智三）
- 1965年11月23日 中共の国連加盟問題（高山岩男）
- 1965年11月26日 冷却期間をおけ中共加盟論争（大井篤）
- 1965年11月30日 許すな中共政権の対日暴言（林秀澄）
- 1965年12月4日 ベトナム終戦を妨げるもの（大井篤）
- 1965年12月22日 中共の「戦争と革命」路線に善処せよ（雨宮）

山陽新聞

- 1960年9月2日 日中貿易再開の機をつかめ
- 1960年10月11日 中国代表権問題と国連
- 1960年12月8日 中共の強硬路線は克服されたか
- 1960年12月16日 日中貿易再開に糸口
- 1960年12月29日 中国問題と真剣に取り組み
- 1961年2月5日 三原則承認は一步の前進
- 1961年2月16日 中国・日韓問題と社会党方針
- 1961年2月27日 中国問題に自主性を持て
- 1961年3月9日 外交懇談会と中国問題
- 1961年4月9日 日中貿易に積極的な構えを
- 1961年6月16日 首相訪米に期待するもの
- 1961年6月24日 日米首脳会談の意義
- 1961年7月13日 中朝条約と共産側の動向
- 1961年9月29日 具体性を欠いた施政演説
- 1961年10月8日 ビルマ賠償再交渉に期待する
- 1961年12月4日 中国代表権問題と日本
- 1961年12月8日 岡崎演説と日本の立場
- 1961年12月17日 中国代表権問題の帰結
- 1962年1月15日 問題を残した使節団声明
- 1962年1月20日 首相演説の理想と現実
- 1962年1月26日 実のある国会論議を
- 1962年4月20日 現実的な方向に向かう中共
- 1962年5月17日 中共貿易促進に努力せよ
- 1962年6月29日 台湾海峡の緊張解消を急げ
- 1962年9月11日 国府のU2型機撃墜事件
- 1962年9月12日 日中関係打開の機運を生かせ
- 1962年9月22日 日中打開の手掛かりを生かせ
- 1962年9月29日 日中貿易拡大の具体化を
- 1962年10月16日 日中貿易に積極方針を
- 1962年10月22日 中印紛争の平和的解決を
- 1962年10月27日 日中貿易拡大への“道づくり”
- 1962年11月5日 中印話し合いの好機
- 1962年11月11日 漸増期待の日・中貿易
- 1962年12月18日 深まりそうな中ソの対立
- 1963年1月14日 ビルマ賠償増額交渉に望む
- 1963年1月26日 中印両国の話し合いを望む／妥結したビルマ賠償再交渉
- 1963年3月31日 賠償交渉の終了と今後の問題
- 1963年6月19日 平和共存の評価

1963年 6月26日 対日非難当たらず
 1963年 8月19日 日中貿易拡大の機運と問題
 1963年 8月26日 華商殺害賠償問題の重大化
 1963年10月27日 対マレーシア補償の成立を
 1963年11月 8日 調印される日中漁業協定
 1964年 1月 4日 自主外交の確立を
 1964年 1月21日 正常化の実あげよ
 1964年 1月22日 目標への実践を
 1964年 1月25日 主体性ある態度を
 1964年 1月29日 中仏の国交樹立
 1964年 2月 2日 仏の起こす波紋
 1964年 2月10日 吉田元首相の訪台
 1964年 2月12日 国府の対仏断交
 1964年 2月21日 「積み上げ」の推進へ
 1964年 3月 3日 日中関係と周首相回答
 1964年 4月 5日 激化する中ソ対立
 1964年 4月22日 日中関係に前向き姿勢を
 1964年 5月 6日 拡大する日中貿易
 1964年 5月23日 前向きに検討せよ
 1964年 6月 5日 アジア情勢と日本
 1964年 7月 3日 大平外相の訪台に望む
 1964年 7月24日 日・中貿易拡大の機運
 1964年10月12日 主体的な足場固め
 1964年10月18日 核禁の緊要性まず
 1964年10月30日 一応の主体性示す
 1964年11月 9日 中ソ和解への動き
 1964年11月20日 アジア政策の確立
 1965年 1月 8日 自主外交の足固め
 1965年 1月15日 乏しい自己主張
 1965年 1月21日 積極外交を進めよ
 1965年 1月30日 自主外交とは何か
 1965年 2月 9日 中共へのプラント輸出問題
 1965年 3月 1日 対立とけぬ中・ソ関係
 1965年 4月 9日 前向き姿勢で
 1965年 4月14日 アジア外交進めよ
 1965年 4月21日 日中の接触進めよ
 1965年 6月21日 大事な日本の自覚
 1965年 9月23日 自主外交確立へ
 1965年10月10日 米中冷戦の主舞台
 1965年11月14日 前向き姿勢で

15万部以上（全国5紙合計部数の1%）

北海タイムス

1960年 9月14日 日中貿易正常化の進め方
 1960年12月16日 日中貿易の再開に努力を
 1961年 1月 4日 今年こそ日中関係打開
 1961年 1月 7日 ことしの国連外交
 1961年 1月29日 現実外交と中共問題
 1961年 1月31日 首相演説の夢と現実

- 1961年 2月27日 動く米英の中国政策
- 1961年 3月 8日 首相訪米と国連総会
- 1961年 3月14日 中国政策仕上げを急げ
- 1961年 4月 3日 対中国意見を纏める
- 1961年 6月 3日 中国の代表権問題
- 1961年 6月16日 日米会談に土性骨を
- 1961年 6月24日 日米会談と首相のこんご
- 1961年 6月28日 中国代表権のゆくえ
- 1961年12月 6日 納得しかねる外交の現状
- 1961年12月23日 緊急質問と外交論争
- 1962年 1月30日 訪中声明と自民の統一見解
(論説)
- 1962年12月 8日 日本は日本 (宮田久)
- 1963年 1月25日 中共問題を無視 (宮田久)
- 1963年 7月16日 共産国の平和の意義 (中村)
- 1963年 9月30日 池田外交の心構え (坂西志保)
- 1964年 1月13日 迎合的外交の限界 (中村)
- 1964年 1月16日 台湾問題に処する道 (唐島基智三)
- 1964年 1月22日 自信に満ちた首相演説 (木野工)
- 1964年 1月28日 一つの中国、一つの台湾 (唐島基智三)
- 1964年 2月28日 吉田訪台の成果 (木野工)
- 1964年 6月26日 二つの社会党使節団 (木野工)
- 1964年 9月25日 軽率きわまる社会党 (唐島基智三)
- 1964年10月18日 中国の政治的爆弾 (木野工)
- 1964年10月30日 多角的外交のために (大橋良一)
- 1964年11月28日 佐藤内閣と中国問題 (唐島基智三)
- 1964年12月27日 佐藤首相の一月訪米 (唐島基智三)
- 1965年 1月 8日 超党派外交の推進へ (唐島基智三)
- 1965年 1月10日 首相のアメリカ訪問 (木野工)
- 1965年 1月15日 日米共同声明の意味 (木野工)
- 1965年 2月12日 統一を欠く佐藤内閣 (唐島基智三)
- 1965年 9月21日 印パ紛争に停戦の兆 (木野工)
- 1965年 9月22日 高姿勢にすぎる中共 (唐島基智三)
- 1965年11月19日 国連のきわどい表決 (木野工)

北日本新聞

- 1960年10月15日 国連の転機に対処せよ
- 1960年12月 3日 中ソ論争の重要性
- 1960年12月24日 福祉国家への道
- 1961年 3月12日 米中和解に協力せよ
- 1961年 4月15日 中国問題で超党派外交を
- 1961年 6月16日 首相訪米と社党の態度
- 1961年 6月24日 日米会談の収穫と今後
- 1961年 7月10日 中共の大凶作と人民公社制 (高木友三郎)
- 1961年11月24日 首脳者は自国本位捨てよ
- 1962年 9月11日 共産圏貿易への期待
- 1962年 9月14日 松村訪中団長に望むもの
- 1962年 9月27日 日中関係打開の成果
- 1962年10月16日 日中貿易拡大は共栄の道
- 1963年 3月18日 中ソ分裂と米仏対立の理由 (高木友三郎)

- 1963年 4 月 4 日 共産圏貿易と首相の態度
- 1964年 1 月22日 きびしさを欠く施政演説
- 1964年 1 月27日 二つの中国と世界歴史の隘路（高木友三郎）
- 1964年 2 月24日 ますます難問化する中共問題（高木友三郎）
- 1964年 4 月 9 日 松村氏の訪中に望む
- 1964年10月18日 中国の核実験に抗議する
- 1964年11月22日 総花的だった首相の演説
- 1965年 1 月21日 具体性欠く首相の談話
- 1965年 1 月26日 政府三演説と国会に望む
- 1965年 5 月16日 中国核実験の意義
- 1965年11月19日 中国の加盟見送りと日本

愛媛新聞

- 1960年 7 月30日 中共代表団来日と日中関係の動き
- 1960年 8 月 5 日 日中貿易打開をはかれ
- 1960年 9 月 1 日 日中貿易再開への好機にがすな
- 1960年 9 月29日 日中関係打開と三党首会談の必要
- 1960年10月11日 我が中ソ外交に転換期の悩み
- 1960年11月26日 中共の核クラブ入りを早く防げ
- 1960年12月11日 経済外交に積極的な意欲を望む
- 1960年12月21日 日中貿易に消極的な首相答弁
- 1960年12月30日 中国問題に活発な論議の展開を
- 1961年 2 月 1 日 依然として自主性薄い池田外交
- 1961年 4 月 7 日 日中貿易の拡大と正常化に期待
- 1961年 4 月 8 日 貿易拡大を対中共策の踏み台に
- 1961年 6 月15日 首相の訪米に希望したいこと
- 1961年 7 月 2 日 自信だけでは不安な池田新政策
- 1961年11月12日 池田首相の記者会見
- 1961年12月 2 日 中国代表権問題と日本
- 1961年12月31日 平穏に暮れる三十六年
- 1962年 1 月15日 日中共同声明と社会党
- 1962年 1 月30日 日中共同声明をめぐる泥じあい
- 1962年 4 月14日 日本外交の問題点
- 1962年 9 月22日 日中正常化を積極的に
- 1962年 9 月27日 日中関係の積み上げ方式
- 1962年10月21日 中印国境の新事態を憂う
- 1962年11月12日 日中貿易交渉の妥結
- 1962年12月 8 日 池田政権への再検討
- 1962年12月19日 中・ソ論争への対処
- 1963年 1 月10日 中ソ論争の新課題
- 1963年 1 月18日 中印は直接交渉に踏み切れ
- 1963年 4 月 6 日 中ソ二党会談をめぐる動き
- 1963年 8 月20日 中国を敵視すべきか
- 1963年 8 月30日 シンガポール賠償要求について
- 1963年 9 月22日 池田首相の外遊に望む
- 1963年10月27日 マレーシア補償解決のとき
- 1963年11月14日 悪化した国府との外交関係
- 1964年 1 月13日 国府問題とアジア外交
- 1964年 1 月21日 フランスの中国承認姿勢
- 1964年 1 月23日 抽象的に過ぎる首相演説

- 1964年 2月 3日 仏大統領のアジア政策
- 1964年 2月 8日 吉田氏の訪台をめぐって
- 1964年 2月12日 国府の対仏断交と影響
- 1964年 2月21日 日中記者交換の実現を
- 1964年 4月18日 松村氏らの訪中成果に期待
- 1964年 5月20日 中ソの微笑外交に対処するためには
- 1964年 7月 7日 目的を果たした外相の訪台
- 1964年 7月22日 訴えに乏しい記者会見
- 1964年 8月 8日 ベトナムの戦火を消せ
- 1964年10月18日 中国の核実験と全廃の機会
- 1964年10月20日 中国に国連加盟の道を／国連対策に自主性を貫け
- 1964年10月27日 激動する国際情勢
- 1964年10月31日 日中共同声明への疑問
- 1964年11月17日 社会党の党大会に注目
- 1964年12月 2日 国連総会の開幕と問題点
- 1964年12月 4日 前向きの中国政策とは
- 1964年12月 6日 外相の国連演説と問題点
- 1964年12月31日 一九六四年の「平和」
- 1965年 1月 3日 前向きの自主外交推進を
- 1965年 1月 7日 国民世論と中国政策
- 1965年 1月10日 佐藤首相訪米の意義
- 1965年 1月17日 佐藤外交の今後を注目
- 1965年 1月26日 “慎重” すぎる首相演説
- 1965年 2月 7日 ドゴール提案と国連問題
- 1965年 2月17日 前向きの「政経分離」を
- 1965年 2月20日 国連の動脈硬化を防ごう
- 1965年 3月25日 中共の対ソ非難の影響
- 1965年 4月 8日 対中国政策は無方針か
- 1965年 4月21日 AA 諸国の進路と課題
- 1965年 5月17日 中国核実験の影響を重視
- 1965年 8月 8日 輸銀使用と自主性の確立
- 1965年 8月13日 「戦後二十年」に思う
- 1965年 9月14日 印・パ紛争と中国代表権
- 1965年 9月23日 国連総会と日本の役割
- 1965年 9月25日 停戦は紛争解決の第1歩
- 1965年10月 2日 代表権問題と中国の態度
- 1965年11月19日 「中国加盟否決」の背景

熊本日日新聞

- 1960年 9月 2日 日中貿易を進めよ
- 1960年 9月 7日 素人外交は危ない
- 1960年12月16日 日中貿易の再検討
- 1961年 1月 3日 核規制と赤い中国
- 1961年 1月14日 日中貿易再開の好機
- 1961年 2月 7日 台湾の地歩について
- 1961年 2月28日 冷戦の現段階と日本
- 1961年 3月13日 日中貿易拡大の好機
- 1961年 3月14日 ライシャワー大使を迎える
- 1961年 3月21日 筋金入りの外交
- 1961年 4月 4日 「書生論」と現実外交

1961年 4月10日 日中貿易を拡大の軌道に
1961年 4月18日 大国としての自覚と外交
1961年 6月27日 アジアにおける日本の役割
1961年 7月 6日 こんごの日中関係
1961年 7月21日 慎重な外交政策を
1961年 9月30日 もの足りぬ政府三演説
1961年12月 5日 中国代表権論争
1961年12月18日 中国代表権と日本
1962年 1月 4日 流転の世界、日本の外交
1962年 1月 9日 抽象論と自主外交
1962年 1月16日 国内政治と日中共同声明
1962年 1月19日 理念外交を戒める
1962年 6月28日 大陸反攻計画の波紋
1962年 8月 9日 日中貿易の復元
1962年 9月17日 日中貿易拡大への期待
1962年 9月29日 日中貿易の復元
1962年10月 2日 対共産圏貿易
1962年11月20日 形勢一変とわが外交
1962年12月11日 アジア共産主義封鎖論
1963年 1月 8日 共産圏の冷戦と日本
1963年 2月16日 中国の核実験に反対する
1963年 6月25日 冷戦の転変と外交
1963年 7月23日 新外交路線の確立
1963年 9月 3日 アジア政策と日本の外交
1963年 9月 8日 対共産圏貿易の動き
1963年10月 1日 共産圏貿易、慎重論
1963年10月22日 外交論戦の眼目
1963年10月29日 うかつ千万な外交論
1963年12月24日 「希望の新時代」と日本
1964年 1月 7日 外交の前提、真相の掌握
1964年 1月20日 自主近隣外交の前提
1964年 1月21日 この際は急ぐべからず
1964年 1月28日 「一つの中国」「一つの台湾」
1964年 2月 3日 国会の外交論議に思う
1964年 2月 4日 ドゴールのねらいと日本
1964年 2月11日 近隣外交批判
1964年 2月18日 他力本願的外交
1964年 2月25日 彼を知らず己を知らず
1964年 3月 3日 外交の基本線
1964年 3月 6日 対中国政策の統一見解
1964年 3月24日 近隣外交の基本線
1964年 4月 7日 世界の新段階、日本の外交
1964年 4月14日 北京は孤立している
1964年 4月21日 島国外交と近隣外交
1964年 5月24日 自己の立ち場を見定めよ
1964年 7月 7日 国家百年の大計
1964年 7月16日 中ソ対立と社会党
1964年 8月 5日 社党の訪ソ使節団帰る
1964年 8月14日 中共貿易の拡大
1964年 9月16日 社会党の訪中使節に望む

- 1964年10月2日 特派員交換に期待する
- 1964年10月13日 核爆発と李ライン
- 1964年10月18日 核抑止に新組織つくれ
- 1964年10月29日 内外の新情勢と外交国策
- 1964年11月22日 胸にこない佐藤演説
- 1964年11月28日 椎名外相の訪米に望む
- 1964年12月1日 中国問題をどう扱うか
- 1964年12月8日 正姿勢外交を提唱
- 1964年12月9日 明確さを欠く首相発言
- 1964年12月20日 あいまいな佐藤路線
- 1964年12月22日 アジアの形勢と日本の地歩
- 1964年12月29日 流転の世界、安定の日本
- 1965年1月6日 佐藤内閣今年の課題
- 1965年1月12日 基本線をはっきりさせよ
- 1965年1月17日 佐藤首相訪米の成果
- 1965年1月19日 自主外交は慎重に
- 1965年1月27日 施政演説と“佐藤色”
- 1965年4月8日 日中貿易の打開
- 1965年5月18日 隣邦の核と極東の形勢
- 1965年9月18日 印パ紛争の解決を望む
- 1965年9月21日 アジア“戦国時代”
- 1965年9月28日 イデオロギーと外交政策
- 1965年10月12日 東風競わず
- 1965年10月29日 中共のAA会議不参加
- 1965年11月2日 ベトナム戦争と中国
- 1965年11月18日 複雑微妙な中ソ対立
- 1965年12月11日 遠いベトナム平和の道

南日本新聞

- 1960年7月31日 中共・韓国との国交
- 1960年9月1日 日中貿易を打開せよ
- 1961年1月22日 不安な米の中国政策
- 1961年3月2日 日中は前向き外交へ
- 1961年4月21日 自主的な中国対策を
- 1961年5月16日 米ソ会談と日中貿易
- 1961年5月29日 台湾は農地改革に成功（木内信胤）
- 1961年5月30日 自主性もって訪米せよ
- 1961年6月12日 複雑な中共の承認問題（田村幸策）
- 1961年6月16日 国民にわかる政治を
- 1961年6月18日 首相の訪米にのぞむ
- 1961年6月24日 日米首脳会談の成果
- 1961年7月2日 物たりぬ首相の報告
- 1961年8月26日 外交青書への疑問
- 1961年9月29日 迫力に乏しい首相演説
- 1961年11月28日 率直に立ち場を訴えよ
- 1961年12月17日 解決しない中国問題
- 1962年1月22日 日中関係は冷静に考慮（入江啓四郎）
- 1962年1月30日 “共同声明”めぐる対立
- 1962年6月29日 台湾海峡の緊張と日本
- 1962年9月9日 日中貿易促進への期待

1962年 9 月21日 日中関係の大きな進展
1962年10月11日 日中関係、前向きを貫け
1962年10月28日 中印紛争の解決を望む
1962年11月11日 正常化した日中貿易
1963年 3 月16日 中ソ論争を注視する
1963年 7 月23日 中ソ会談と平和への道
1963年 9 月 3 日 対中国政策の検討に
1963年10月 2 日 共産圏貿易の新局面
1964年 1 月17日 対中国政策を確立せよ
1964年 1 月22日 具体性欠いた首相演説
1964年 1 月24日 新国際情勢とその対策
1964年 2 月22日 “吉田訪台”と中国問題
1964年 4 月 6 日 激化してきた中ソ論争
1964年 4 月23日 日・中記者交換の実施
1964年 7 月17日 社会党のソ連中国外交
1964年10月14日 社党訪中使節団に望む
1964年10月18日 中国の原爆実験と日本
1964年10月31日 社党と中国の共同声明
1964年11月12日 新政策を具体的に示せ
1964年11月21日 佐藤外交の基本は何か
1964年11月22日 肩すかしの所信表明
1964年11月26日 中国の批判には冷静に
1964年11月29日 中国代表権は弾力的に
1964年12月 8 日 “全人民の国家”の問題点
1964年12月19日 要を得なかった臨時国会
1964年12月24日 中国代表権問題と日本
1965年 1 月 5 日 国際協調下の自主外交
1965年 1 月 6 日 米の政策を見きわめよ
1965年 1 月 9 日 自主外交の実践に望む
1965年 1 月16日 “過大な評価”は避けよ
1965年 1 月21日 毅然としない自主外交
1965年 1 月26日 “佐藤路線”の実践望む
1965年 1 月30日 要領を得ない国会論議
1965年 2 月 3 日 幅のある共産圏貿易を
1965年 2 月10日 スジの通らぬ政経分離
1965年 2 月17日 契約破棄と今後の方策
1965年 4 月 8 日 中国貿易の姿勢を正せ
1965年 4 月11日 AA 会議に望む態度
1965年 4 月13日 共産側も柔軟な態度
1965年 4 月21日 川島・周会談を生かせ
1965年 4 月27日 佐藤外交、今後の課題
1965年 5 月 9 日 日中貿易の再検討を
1965年 5 月16日 核実験への抗議と外交
1965年 6 月 6 日 具体性欠く首相所信
1965年 6 月19日 外交政策の論議に望む
1965年 8 月 8 日 日中貿易に積極策を
1965年 8 月12日 シンガポールの独立
1965年 9 月13日 国連総会と政府の態度
1965年 9 月27日 中国代表権の考え方
1965年10月 2 日 流動する国際政局

1965年10月16日 東南ア開発のあり方
 1965年10月17日 見本市使節団への注文
 1965年11月3日 延期された AA 会議
 1965年11月10日 中国の国連加盟問題
 1965年11月19日 否決された中国加盟
 1965年12月6日 軍縮と大国の責任

12万部以上（地方紙合計部数の約1%）

東奥日報

1960年8月1日 池田内閣と日中関係
 1961年3月17日 前向きに対中国政策を
 1961年11月16日 東南ア諸国訪問に望む
 1961年11月30日 東南アジア歴訪の成果
 1961年12月8日 岡崎演説と中国問題
 1962年1月31日 自民党の“統一見解”
 1962年5月22日 試練に直面の自主外交
 1962年12月12日 自主外交の道を示せ
 1963年1月21日 日米安保委の結果を思う
 1963年9月24日 首相四ヵ国歴訪の意義
 1964年1月21日 中国政策の確立を急げ
 1964年8月6日 インドシナ情勢激化の本質
 1964年8月9日 インドシナの解決は国連で
 1964年10月2日 「中共核実験」説の波紋
 1964年10月18日 中国初の原爆実験と日本
 1964年11月1日 野党外交のもたらすもの
 1964年11月27日 二つの“代理戦争”と日本
 1965年1月15日 日米首脳会談と今後の日米関係
 1965年6月6日 首相独自の所信が聞きたい

高知新聞

1960年7月31日 中国使節団来日
 1960年8月10日 自主外交の実を示せ
 1960年8月19日 対米追従外交への反省
 1960年9月1日 周談話を重視する
 1960年9月6日 新政策をこう見る
 1960年9月11日 小坂外相の訪米に望む
 1960年11月6日 建設的な外交論議を望む
 1961年1月4日 世界とともに歩む外交
 1961年1月31日 首相演説の自信の不足と過剰
 1961年2月2日 日中貿易打開への努力を
 1961年2月11日 国際動向の判断を誤るな
 1961年3月9日 善隣としての日中外交
 1961年3月27日 「安値輸出」への対抗策
 1961年4月8日 日中貿易の前進
 1961年4月11日 社会党に中国政策をただす
 1961年6月15日 勇気ある説得者の立場で
 1961年6月24日 日米会談の成果
 1961年7月13日 軍事同盟の連鎖現象を恐れる
 1961年12月8日 岡崎演説に欠けたもの

- 1961年12月17日 「重要事項」決議案の採択
1962年 1 月 5 日 実りある年に ④日本外交に欠けたもの
1962年 1 月16日 社会党に警告する
1962年 1 月30日 「日中声明」論争は前向きに
1962年 4 月18日 「三つの旗」を振る中共
1962年 5 月26日 難民救済の道を開け
1962年 6 月 3 日 前進姿勢で中共貿易を
1962年 6 月27日 中共は即刻砲撃をやめよ
1962年 8 月 3 日 コレラの侵入
1962年 8 月 9 日 日中貿易促進の機運
1962年 9 月 4 日 江田論文を読んで
1962年 9 月11日 黒い翼の暗い情報
1962年 9 月13日 松村訪中に期待する
1962年 9 月21日 松村訪中の成果
1962年 9 月29日 ハリマン演説にこたえる
1962年10月18日 日中貿易と四閣僚会議
1962年11月 1 日 国境紛争に冷静な話し合いを
1962年11月11日 新段階を迎えた日中貿易
1962年11月21日 武力解決は許されぬ
1962年11月23日 中印国境紛争の根を絶つために
1962年12月11日 物足らぬ首相の所信表明
1962年12月15日 「平和共存」を实らす道
1962年12月18日 中ソ対立の激化
1963年 1 月12日 日中漁業の正常化
1963年 2 月12日 プラウダ社説を読んで
1963年 6 月19日 ソ連に論争をいどむ中共
1963年 7 月 1 日 激しさを増す中ソの対立
1963年 7 月22日 中ソ会談が残したもの
1963年 8 月14日 中ソ論争と社会党見解
1963年 8 月22日 中共へのプラント輸出に思う
1963年 9 月 7 日 日本は中共にどう臨むべきか
1963年 9 月 8 日 民主主義は回り道ではない
1963年 9 月29日 共産圏貿易への財界の目
1963年12月 5 日 中共の「自力更生」路線
1963年12月14日 中共の対ソ反論
1964年 1 月19日 対共産貿易の現実を直視せよ
1964年 1 月21日 注目すべき中仏接近
1964年 1 月29日 中仏国交をどう見るか
1964年 1 月30日 ラスク演説に思う
1964年 2 月10日 吉田元首相の訪台に寄せて
1964年 2 月12日 国府の対仏断交をこう見る
1964年 3 月 7 日 すっきりせぬ「統一見解」
1964年 4 月 5 日 破局的な中ソ論争
1964年 4 月 8 日 日中貿易拡大と政・経分離
1964年 4 月10日 経済外交と民間人
1964年 4 月21日 松村・廖会談の成果
1964年 5 月11日 日中接近の基本線
1964年 5 月25日 日中大使の接触案
1964年 6 月10日 中国貿易拡大へ動く西独
1964年 7 月17日 多極化のなかの社会党

- 1964年 9月27日 日中記者交換の意義
- 1964年10月13日 社党の訪中使節団に望む
- 1964年10月18日 遺憾さわる中国の核実験
- 1964年10月19日 国際政情の変容と日本の立場
- 1964年10月23日 米国のよき忠告者として
- 1964年10月30日 「日中共同声明」を読んで
- 1964年11月 7日 中ソ関係改善の方向と条件
- 1964年11月26日 人民日報の論評を排す
- 1964年12月 6日 中共疎外の椎名演説
- 1964年12月 9日 日中貿易拡大の意義
- 1964年12月31日 激動つづけた国際政局
- 1965年 1月10日 米国訪問の佐藤首相におくる
- 1965年 1月16日 共同声明に見る日米の中共政策
- 1965年 2月 6日 国連精神とドゴール発言
- 1965年 2月 9日 日中貿易を後退させるな
- 1965年 3月12日 モスクワ協議会議を顧みて
- 1965年 3月29日 世界平和への基本条件
- 1965年 4月 3日 軽視できぬ輸出船問題の波紋
- 1965年 5月16日 許しがたい中共の核実験
- 1965年 6月 6日 佐藤新内閣に望む③ アジア外交推進の実を示せ
- 1965年 7月 3日 英連邦使節団を拒否する共産側
- 1965年 8月 7日 日中貿易と「輸銀の自主性」
- 1965年 9月21日 第20回国連総会に望む
- 1965年 9月30日 椎名国連演説を聞いて
- 1965年10月 1日 対決意識にはやる陳毅談話
- 1965年11月14日 流動する中国代表権問題
- 1965年11月19日 賛否同数まできた中国代表権

大分合同新聞

- 1960年 7月31日 注目される日中の新事態
- 1960年 8月 3日 真意なら歓迎すべき周提案
- 1960年 9月 1日 日中貿易再開への期待
- 1960年 9月19日 わからぬ最近の共産圏外交
- 1960年12月15日 前向きになった日中貿易
- 1961年 1月 1日 日本外交は試練の年か
- 1961年 3月14日 中国の国連加盟について
- 1961年 4月16日 中国問題を前進させよ
- 1961年 5月30日 ズレてきた首相訪米の意義
- 1961年 6月13日 池田首相の訪米に望む
- 1961年 6月24日 まず成功？ 池田訪米
- 1961年 7月 2日 首相の記者会見をきいて
- 1961年 9月18日 国連総会で平和への糸口を
- 1961年 9月29日 不満足な首相演説
- 1961年11月25日 インド・ネール会談の意義
- 1961年12月 3日 中国代表権問題と日本
- 1962年 1月16日 反省を要する社会党の態度
- 1962年 1月30日 「二つの日本」をつくるもの
- 1962年11月11日 日中貿易覚書の意義
- 1963年 1月 4日 世界の中に立つ日本
- 1963年 6月20日 中ソ会談を前にして

- 1963年 9 月17日 マレーシア連邦と日本
1964年 1 月14日 対中国外交確立の年
1964年 1 月22日 具体的施策を欠く首相演説
1964年 1 月23日 “二つの中国” の問題
1964年 1 月30日 中国承認を刺激に
1964年 2 月 1 日 新しい日米関係から
1964年 3 月 9 日 予算通過後の国会審議に
1964年 8 月17日 日中貿易に長期展望を
1964年10月18日 中国の核実験と今後の課題
1964年10月19日 激動する世界情勢
1964年10月31日 社会党と中国の共同声明
1964年11月22日 迫力を欠く首相の所信表明
1964年11月25日 佐藤内閣の外交政策に望む
1964年12月 1 日 国連総会への希望
1964年12月 8 日 不統一な中国問題への態度
1965年 1 月 9 日 佐藤首相の渡米と自主外交
1965年 1 月16日 首相訪米の成果
1965年 1 月26日 佐藤首相の姿勢方針演説
1965年 4 月19日 AA 会議十年の成果と今後
1965年 5 月27日 アジア外交と AA 会議
1965年 7 月13日 複雑な様相のベトナム問題
1965年 9 月20日 カシミール戦闘と国連
1965年11月10日 中国代表権と日本の立場

